

刈谷市民意識調査について

平成 18 年度

企画部 企画政策課

目 次

(※単純集計のみ)

I 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査方法等	1
3	回収結果	1
4	調査項目	1
5	報告書の見方	1

II 調査の結果

1	回答者のプロフィール	2
(1)	性別	2
(2)	年齢	2
(3)	家族構成	2
(4)	職業	2
(5)	居住地区(中学校区別)	3
(6)	居住年数	3
(7)	住宅の種類	3
(8)	買い物先	4
(9)	買い物の主な移動手段	4
(10)	勤務地・通学先	5
(11)	通勤・通学の主な移動手段	5
2	刈谷市の全体の印象について	6
(1)	住みやすさの評価	6
(2)	これからの居留意向	7
(3)	市政に対する現在の評価と今後の重要性	8
(4)	現状に対する総合的満足度	15
3	生涯学習、ボランティアなどについて	16
(1)	生涯学習への取り組み状況	16
(2)	ボランティア活動の経験	16
(3)	ボランティア活動を盛んにするための支援	17
4	スポーツへの取り組みについて	18
(1)	スポーツへの取り組み状況	18
(2)	「総合型地域スポーツクラブ」の認知度	18
(3)	「総合型地域スポーツクラブ」の関心度	19
(4)	スポーツへの取り組み状況と意向	20
(5)	スポーツ活動推進のための施策	21

5	文化・芸術について	22
	(1) 文化・芸術鑑賞への取り組み状況と課題	22
	(2) 自分で活動した分野と課題	23
	(3) 文化・芸術の現状と効果	24
6	男女平等の意識について	26
	(1) 平等と感じる度合い	26
	(2) 男女が助け合っていくための課題	27
7	健康について	28
	(1) 自分の健康状態について	28
	(2) 将来の健康についての不安	28
	(3) 市民の健康づくりのための施策	29
	(4) 「健康日本21 かりや計画」の認知度	29
	(5) 健康づくりについて知りたい情報	30
8	環境について	31
	(1) 環境にやさしい生活の取り組み状況	31
	(2) ごみ問題への関心	32
	(3) ごみ収集の回数について	33
	(4) ごみ減量化のための有効な方法	34
9	防災・災害対策について	35
	(1) 東海地震の認知度	35
	(2) 東南海地震の認知度	35
	(3) 家庭での地震のための備え	36
	(4) 準備している非常持ち出し品	37
	(5) 食糧や水の備蓄量	38
	(6) 準備していない理由	38
	(7) 地震発生時に必要な情報	39
	(8) 震災時の情報の入手方法	40
	(9) 自主防災会の認知度	41
	(10) 災害ボランティア活動への参加意向	41
10	広報・広聴について	43
	(1) 市役所からの情報提供の満足度	43
	(2) 市役所からの情報入手手段	44
	(3) 市役所から欲しい情報	45
	(4) 「かりや市民だより」の閲読状況	46
	(5) 「かりや市民だより」を読まない理由	46
	(6) 「かりや市民だより」で読んでいるコーナー	47
	(7) 「かりや市民だより」の満足度	48
	(8) 市民の意見の市政への反映度	48

Ⅲ 参考資料

・ 調査票	49
-------------	-----------

I 調査の概要

1 調査目的

- ・刈谷市の都市づくりのあり方について、広く市民の意見を得る。
- ・総合計画で示す施策の進捗状況を把握して、今後の総合計画の進行管理や行政評価のための参考となる資料を得る。

2 調査方法等

- ・調査地域 刈谷市全域
- ・調査対象 市内在住の20歳以上の男女
- ・標本数 2,000人
- ・抽出方法 無作為抽出法
- ・調査方法 郵送配布、郵送回収
- ・調査時期 平成18年11月

3 回収結果

標本数	有効回答数	回収率
2,000	1,175	58.8%

4 調査項目

- 1 回答者のプロフィール
- 2 刈谷市の全体の印象について
- 3 生涯学習、ボランティアなどについて
- 4 スポーツへの取り組みについて
- 5 文化・芸術について
- 6 男女平等の意識について
- 7 健康について
- 8 環境について
- 9 防災・災害対策について
- 10 広報・広聴について

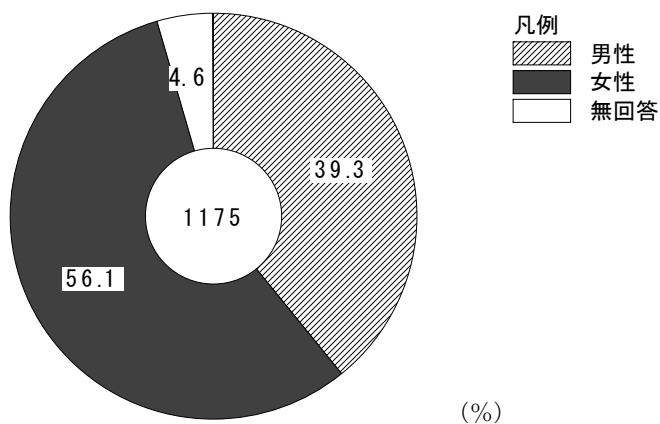
5 報告書の見方

- ・グラフにおける比率はすべて%（パーセント）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。したがって、各項目の構成比の合計は必ずしも100.0%にならない。
- ・複数回答が可能な設問では、構成比算出の母数は回答者数（票数）とし、その項目を選び○をつけた人が全体から見て何%なのかという見方をした。そのため、各項目の比率を合計すると100%以上になる。
- ・グラフにおける選択肢や凡例の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載されている場合がある。また、比率の数値が図中に納まらない場合は、小数点以下四捨五入により整数化したり、あるいは省略したりしている場合がある。

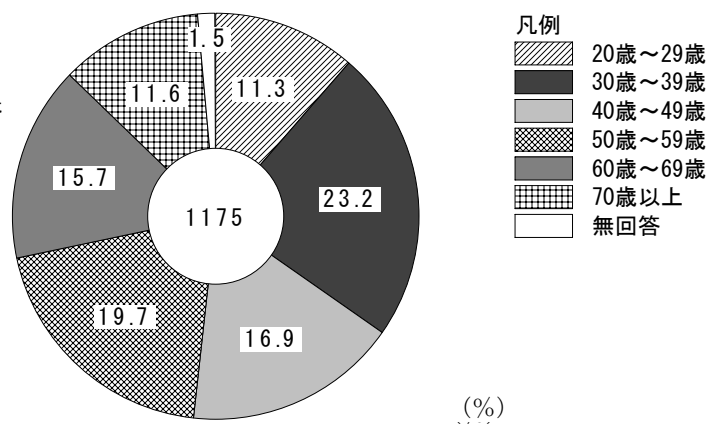
Ⅱ 調査の結果

1 回答者のプロフィール

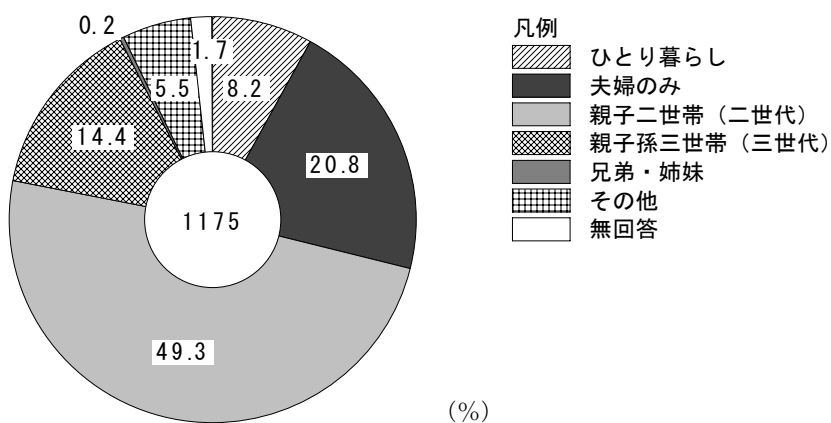
(1) 性別



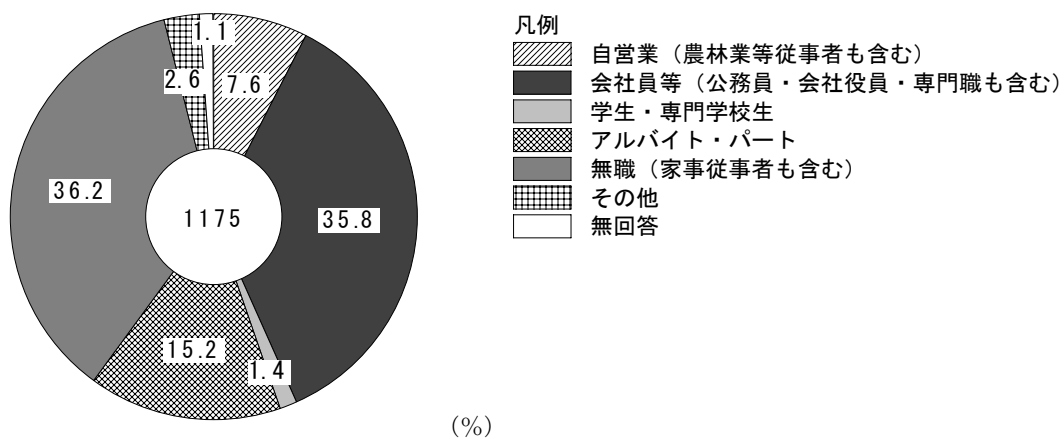
(2) 年齢



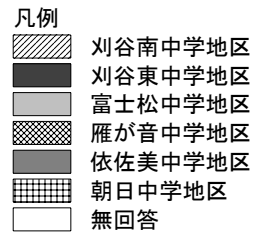
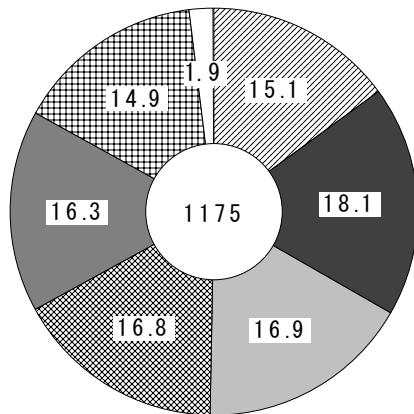
(3) 家族構成



(4) 職業

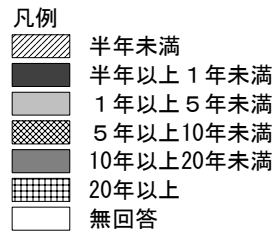
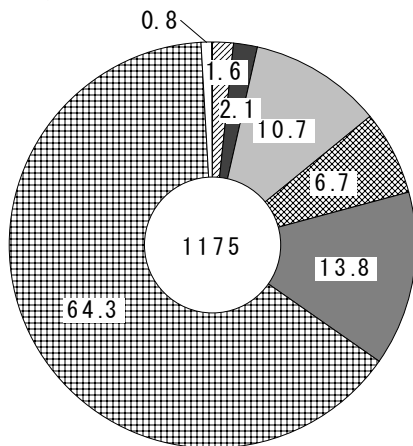


(5) 居住地区（中学校区別）



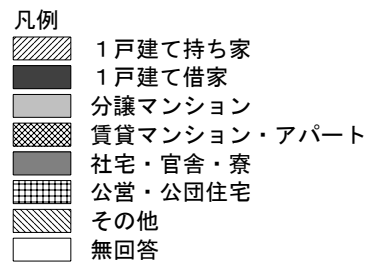
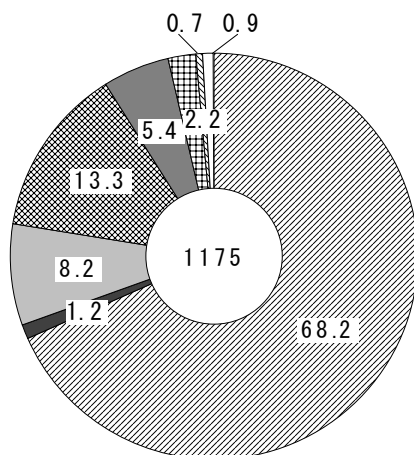
(%)

(6) 居住年数



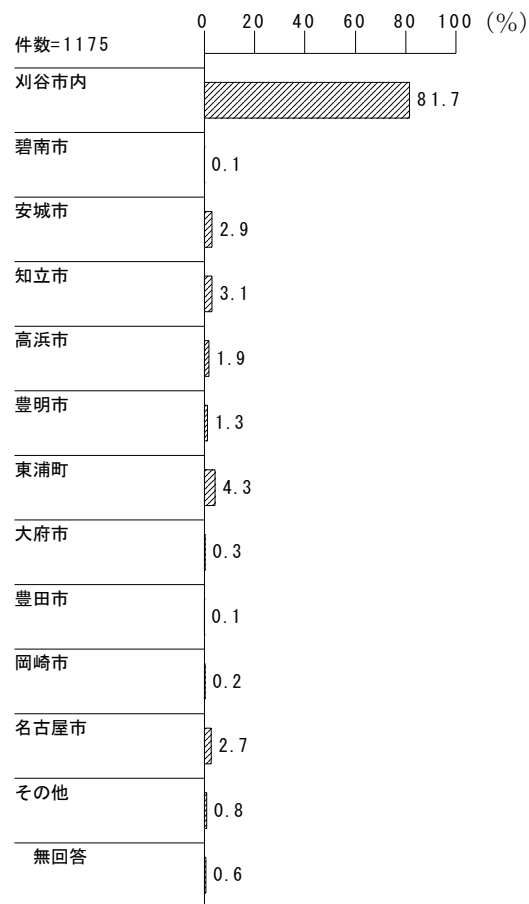
(%)

(7) 住宅の種類

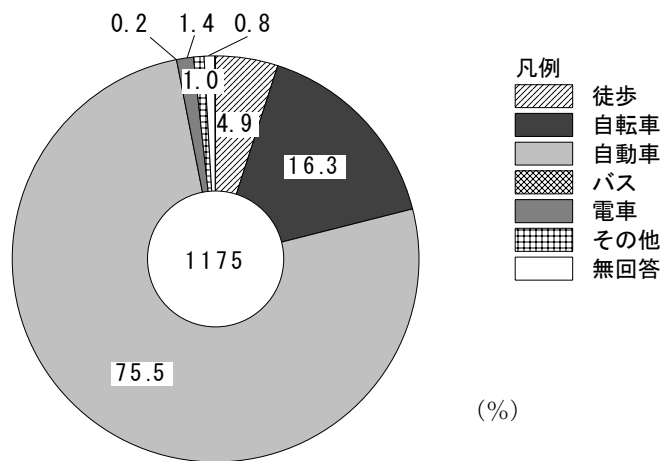


(%)

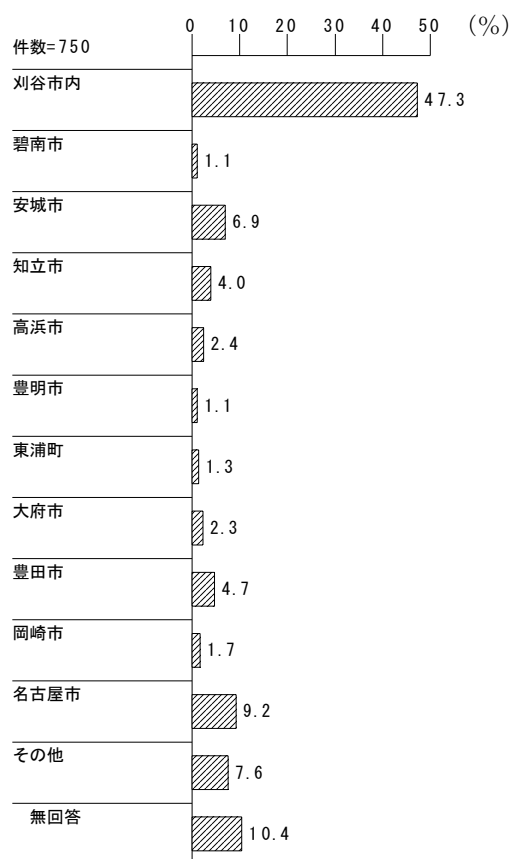
(8) 買い物先



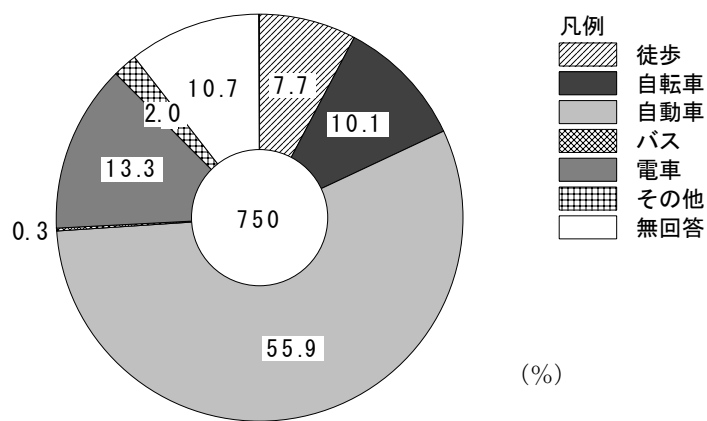
(9) 買い物の主な移動手段



(10) 勤務地・通学先



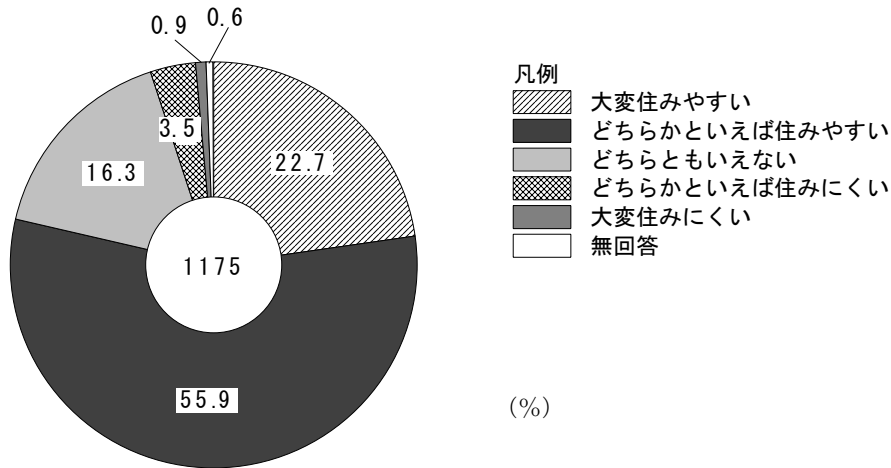
(11) 通勤・通学の主な移動手段



2 刈谷市の全体の印象について

(1) 住みやすさの評価

問2. 総合的にみて、刈谷市は住みよいところだと感じますか。(○は1つ)



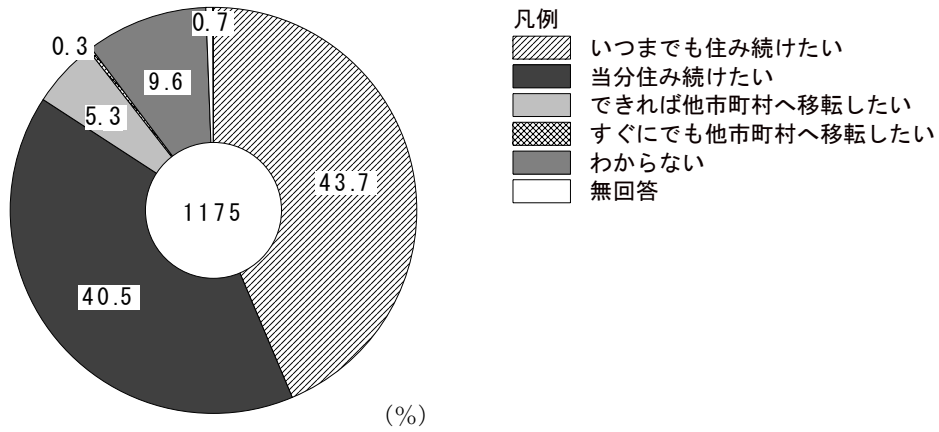
・「どちらかといえば住みやすい」が55.9%、「大変住みやすい」が22.7%であり、合計78.6%が『住みやすい』と評価している。「どちらかといえば住みにくい」は3.5%、「大変住みにくい」は0.9%となっている。

□住みやすさ

	18年度	16年度	14年度	12年度	11年度
住みやすい	78.6%	76.5%	73.9%	67.9%	66.7%
どちらともいえない	16.3%	17.2%	19.6%	20.4%	9.1%
住みにくい	4.4%	5.7%	5.6%	8.1%	19.9%

(2) これからの居住意向

問3. これからも刈谷市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)



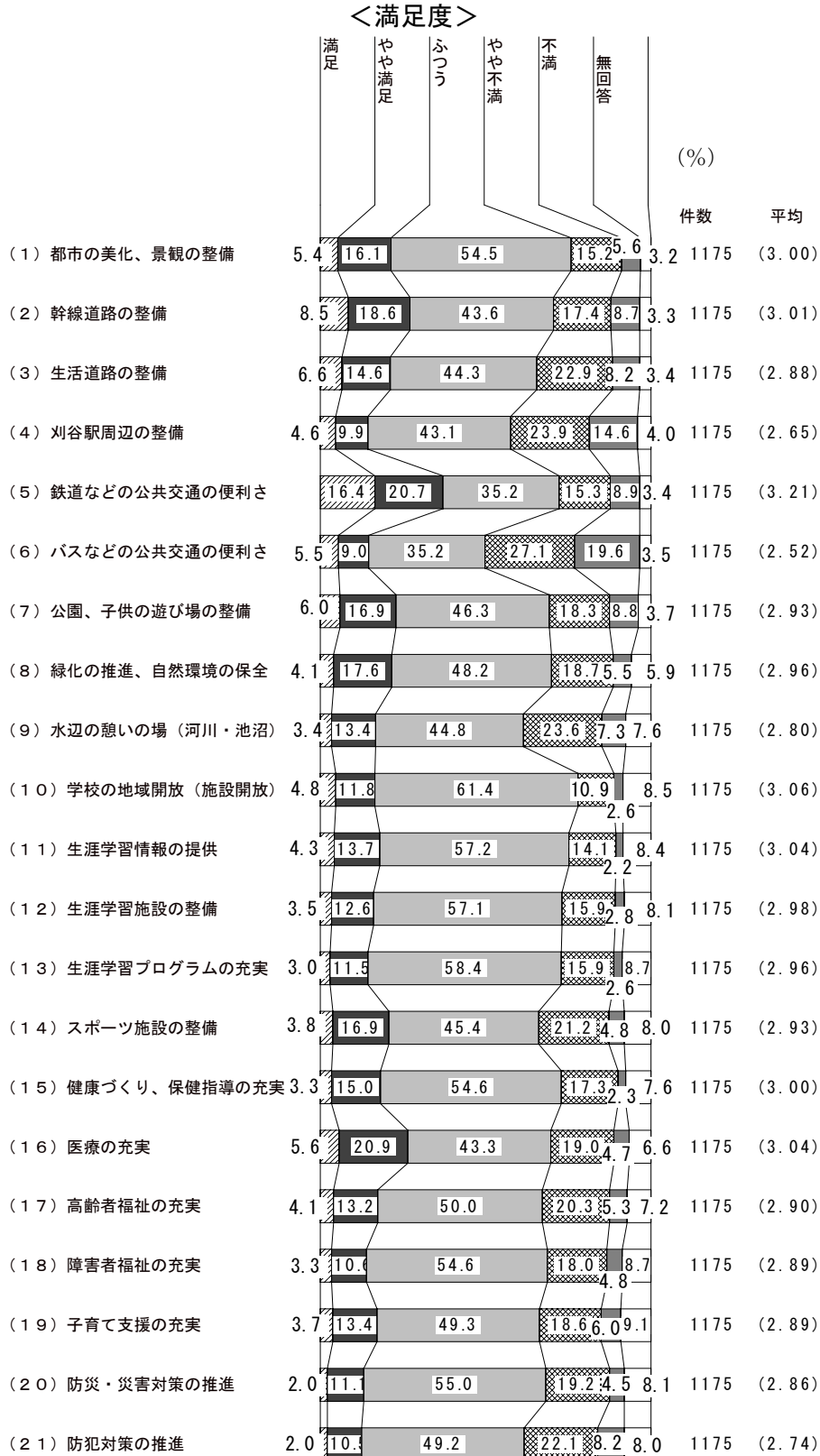
・「いつまでも住み続けたい」が43.7%、「当分住み続けたい」が40.5%であり、合計84.2%が『住み続けたい』と答えている。

□居住意向

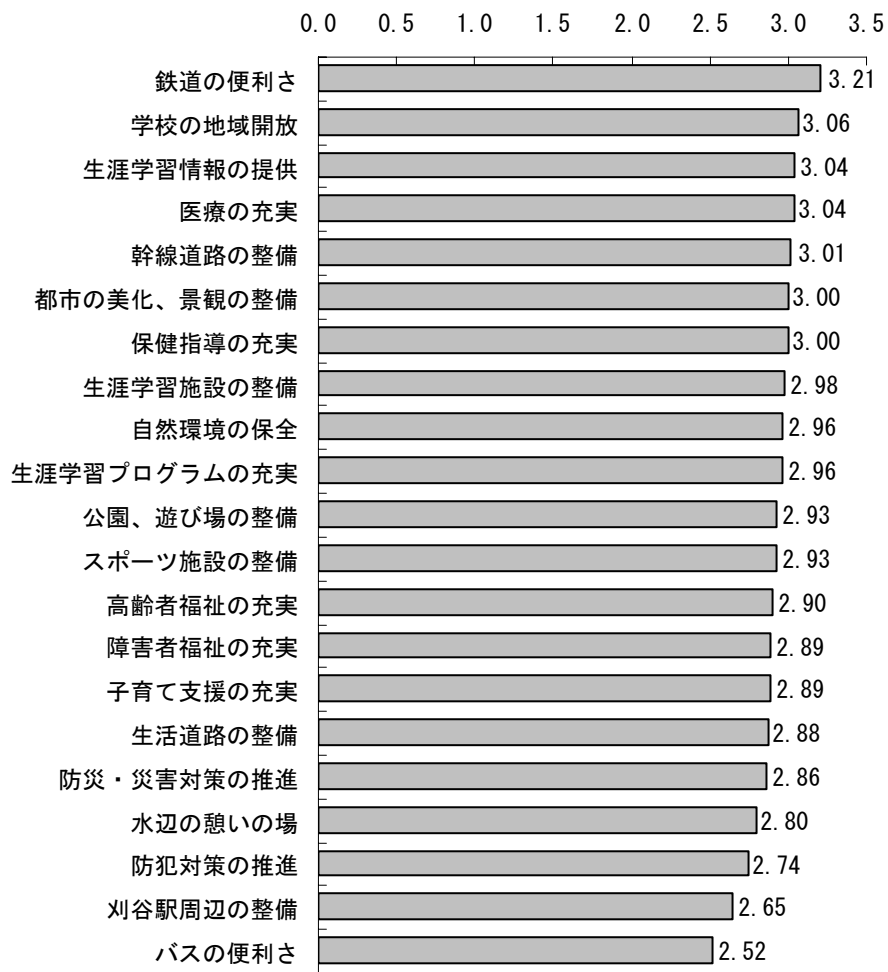
	18年度	16年度	14年度	12年度	11年度
住みつづけたい	84.2%	83.6%	81.4%	76.1%	75.9%
移転したい	5.6%	6.0%	6.6%	9.3%	17.4%

(3) 市政に対する現在の評価と今後の重要性

問4. 市政に対する満足度・重要度についておたずねします。刈谷市の現状に対し、あなたのお気持ちに最も近いものを(1)から(21)までの項目について、満足度・重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。



<満足度の平均ポイント>



・「満足」を5点、「やや満足」を4点、「ふつう」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として計算し、満足度の平均ポイントを算出した。平均ポイントは5に近いほど満足であることを、1に近いほど不満であることを示し、各施策について全体の平均的な満足度を示す重要な指標である。

・満足度の平均ポイントの上位5項目は、以下のようになっている。

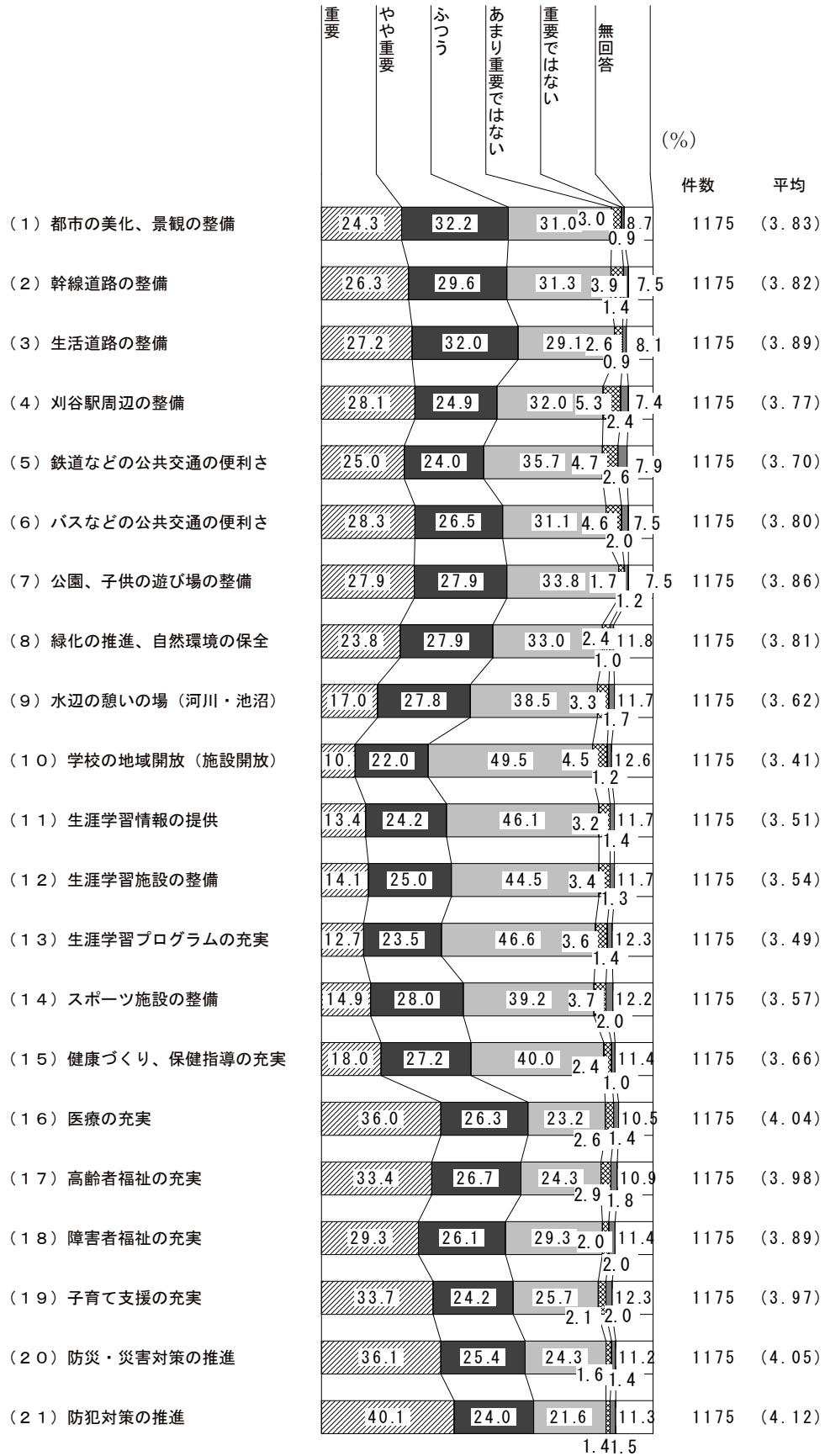
- 1 : 鉄道の便利さ 3.21
- 2 : 学校の地域開放 3.06
- 3 : 生涯学習情報の提供 3.04
- 4 : 医療の充実 3.04
- 5 : 幹線道路の整備 3.01

○満足度（平均点数）

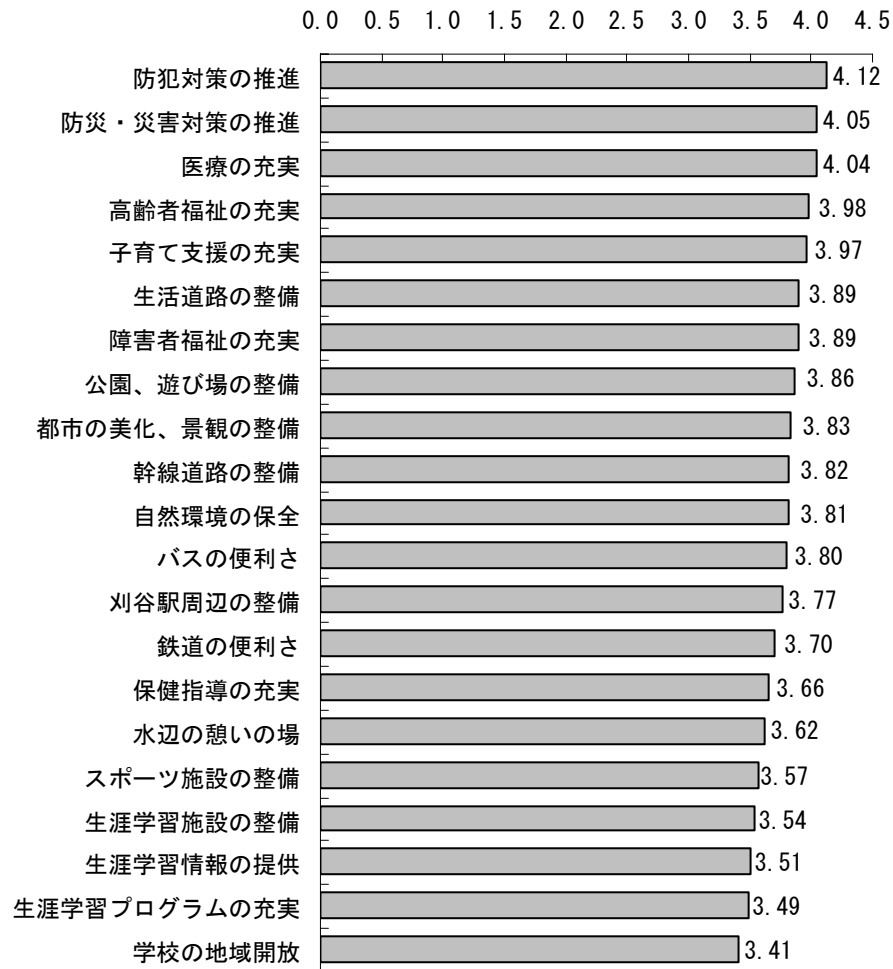
	平成 18年度	平成 16年度	平成 14年度	平成 12年度
鉄道の便利さ	3.21	3.36	3.32	3.22
学校の地域開放	3.06	3.03	3.01	2.96
生涯学習情報の提供	3.04	3.04	3.00	2.85
医療の充実	3.04	3.02	2.89	2.65
幹線道路の整備	3.01	2.90	2.92	2.63
都市の美化、景観の整備	3.00	2.81	2.79	2.77
健康づくり、保健指導の充実	3.00	2.94	2.92	2.85
生涯学習施設の整備	2.98	2.97	2.92	2.85
緑化の推進・自然環境の保全	2.96	2.84	2.77	2.70
生涯学習プログラムの充実	2.96			
スポーツ施設の整備	2.93	2.77	2.79	2.71
公園・子どもの遊び場の整備	2.93	2.90	2.80	2.73
高齢者福祉の充実	2.90	2.92	2.82	2.75
障害者福祉の充実	2.89			
子育て支援の充実	2.89			
生活道路の整備	2.88	2.82	2.79	2.58
防災・災害対策の推進	2.86			
水辺の憩いの場	2.80	2.66	2.63	2.60
防犯対策の推進	2.74			
刈谷駅周辺の整備	2.65	2.82	2.76	2.78
バスの便利さ	2.52	2.45	2.15	2.48

※刈谷駅周辺の整備は、16年度までは、駅周辺の駐輪場の整備となっていた。

<重要度>



<重要度の平均ポイント>

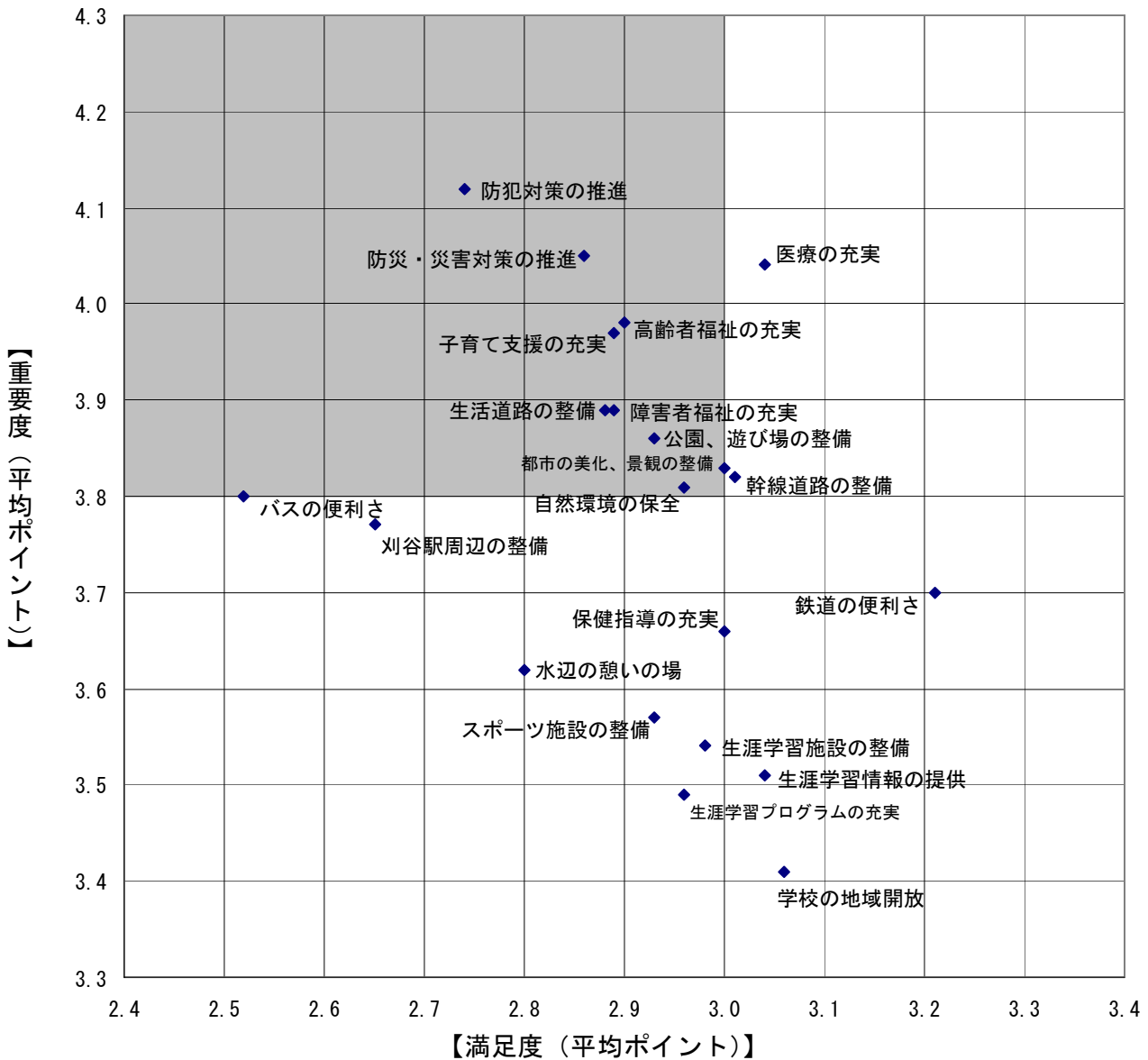


・重要度についても満足度と同様に、「重要」を5点、「やや重要」を4点、「ふつう」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点として計算し、重要度の平均ポイントを算出した。平均ポイントは5に近いほど重要であることを、1に近いほど重要ではないことを示している。

・重要度の平均ポイントの上位5項目は、以下のようになっている。

- 1 : 防犯対策の推進 …………… 4.12
- 2 : 防災・災害対策の推進 …………… 4.05
- 3 : 医療の充実 …………… 4.04
- 4 : 高齢者福祉の充実 …………… 3.98
- 5 : 子育て支援の充実 …………… 3.97

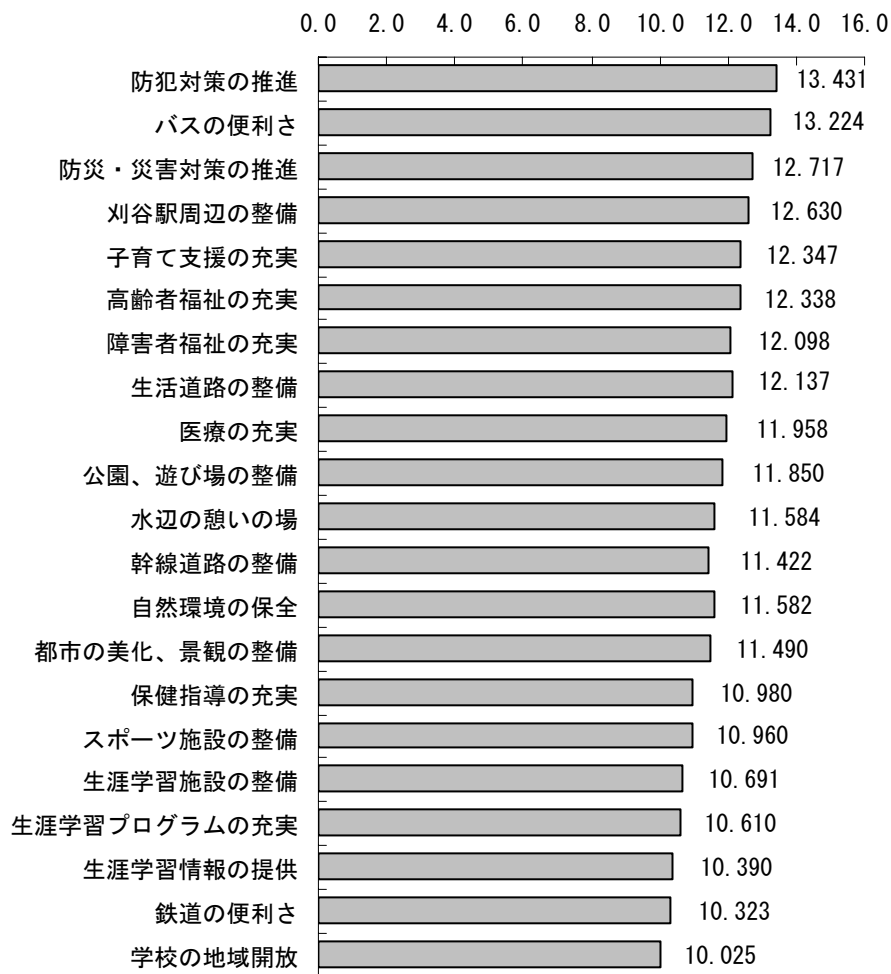
＜満足度・重要度の平均ポイントの散布図＞



・満足度と重要度との関連性について分析を試みる。重要度が高いのに関わらず満足度が低い項目を最も優先して取り組むべき課題であると考え、上の散布図における重要度が3.8以上かつ満足度が3.0以下の範囲（網掛け部分）に含まれる10項目を重点項目であるとする。

・平成16年度調査と比較すると、同じ範囲に含まれていたのは5項目であり、うち「幹線道路の整備」が今回は範囲を外れている。また、あらたに今回から加えられた「防犯対策の推進」、「防災・災害対策の推進」、「子育て支援の充実」、「障害者福祉の充実」などの項目の重要度が高くなっている。

<ニーズ得点（全体平均）>



・満足度と重要度から「ニーズ得点」を算出し、市政に対する市民のニーズについて分析する。ニーズ得点は、重要度が高いほど、かつ、満足度が低いほど、点数が高くなる指標であり、重要度得点と満足度得点を平均ポイント算出時と同様に設定したうえで下記のように算出される。

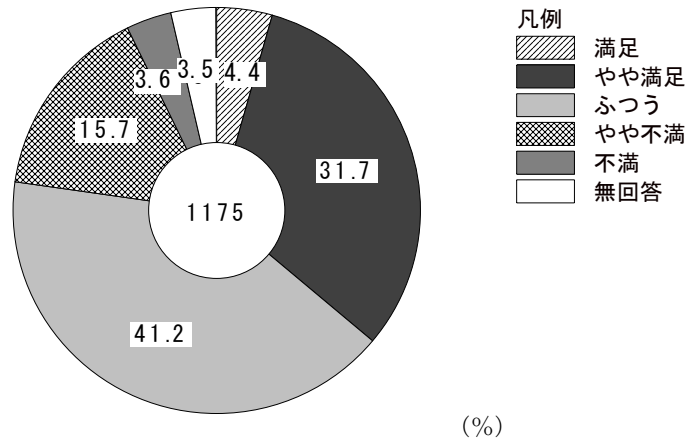
$$\text{ニーズ得点} = \text{重要度得点} \times (6 - \text{満足度得点})$$

・ニーズ得点が高い上位5項目は、以下のようになっている。

- 1 : 防犯対策の推進 13.431
- 2 : バスの便利さ 13.224
- 3 : 防災・災害対策の推進 12.717
- 4 : 刈谷駅周辺の整備 12.630
- 5 : 子育て支援の充実 12.347

(4) 現状に対する総合的満足度

問5. 刈谷市の現状について、あなたは総合的にみてどのように感じていますか。(○は1つ)

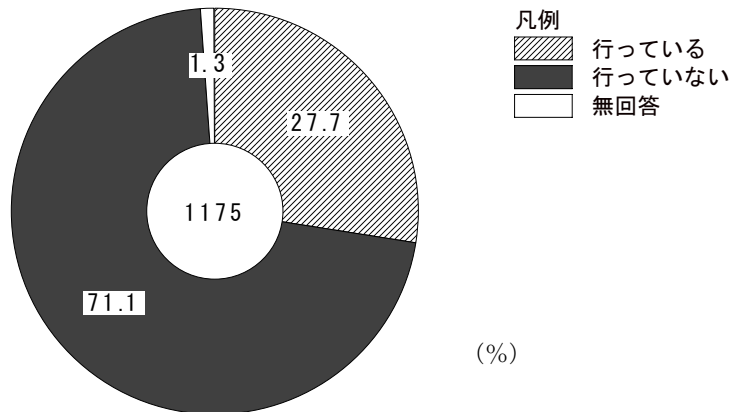


・「ふつう」が41.2%で最も多い。次いで「やや満足」が31.7%であり、「満足」(4.4%)と合わせて36.1%の人が総合的に『満足』であると評価している。

3 生涯学習、ボランティアなどについて

(1) 生涯学習への取り組み状況

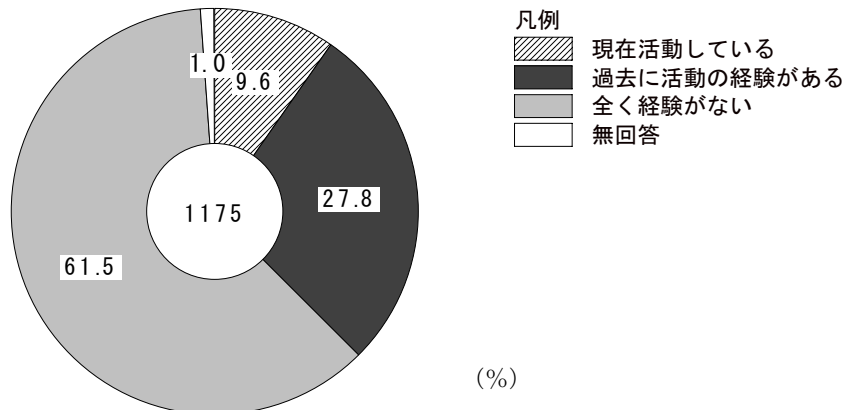
問6. 『生涯学習』とは、一般的に子どもから高齢者まで、趣味、スポーツ、レクリエーション、ボランティア活動など、生きがいのある充実した活動をすることだといわれていますが、現在あなたは、『生涯学習』を行っていますか。



・「行っている」が27.7%、「行っていない」が71.1%となっている。

(2) ボランティア活動の経験

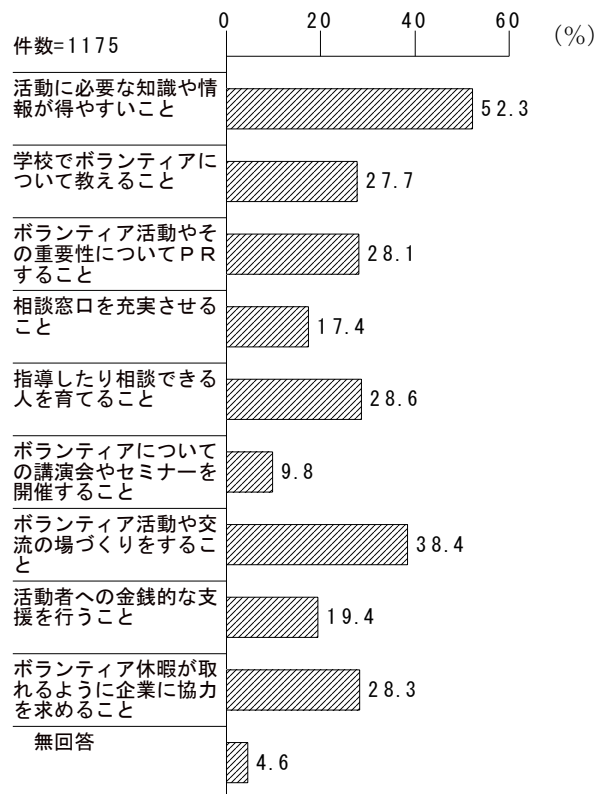
問7. あなたは、今までにボランティア活動の経験がありますか。(○は1つ)



・「全く経験がない」が61.5%、「過去に活動の経験がある」が27.8%、「現在活動している」が9.6%となっている。

(3) ボランティア活動を盛んにするための支援

問8. あなたは、ボランティア活動を盛んにするために、どのような市の支援が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

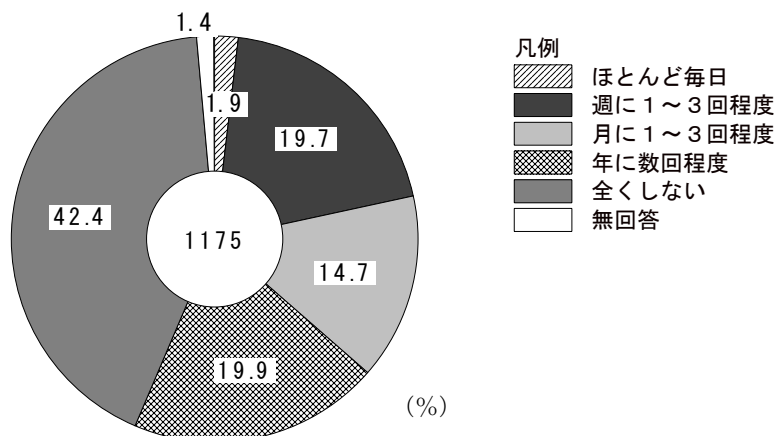


・「活動に必要な知識や情報が得やすいこと」が 52.3%で最も多く、以下「ボランティア活動や交流の場づくりをすること」(38.4%)、「指導したり相談できる人を育てること」(28.6%)、「ボランティア休暇が取れるように企業に協力を求めること」(28.3%)、「ボランティア活動やその重要性についてPRすること」(28.1%)、「学校でボランティアについて教えること」(27.7%)などが続いている。

4 スポーツへの取り組みについて

(1) スポーツへの取り組み状況

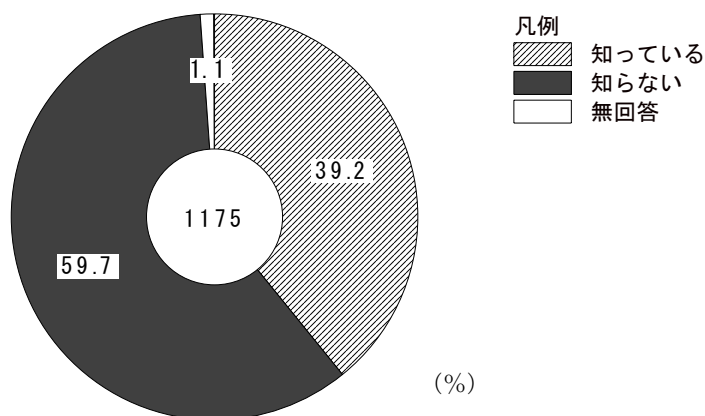
問9. あなたは、普段スポーツをどの程度されていますか。(○は1つ)



・「全くしない」が42.4%で最も多い。スポーツをする人の内訳は、「年に数回程度」が19.9%、「週に1~3回程度」が19.7%、「月に1~3回程度」が14.7%、「ほとんど毎日」が1.9%となっている。全体の約5分の1強が『週に1回以上』スポーツをしていると答えている。

(2) 「総合型地域スポーツクラブ」の認知度

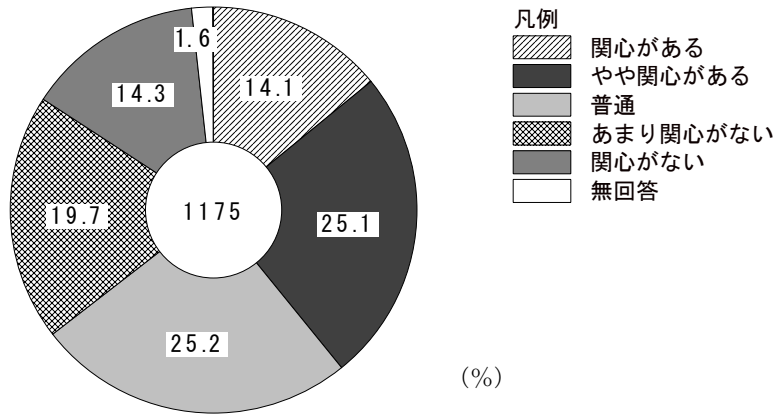
問10. あなたは、6 中学校区で設立されている（または設立が進められている）「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。



・「知っている」が39.2%、「知らない」が59.7%となっており、「総合型地域スポーツクラブ」の認知度は現在4割程度となっている。

(3) 「総合型地域スポーツクラブ」の関心度

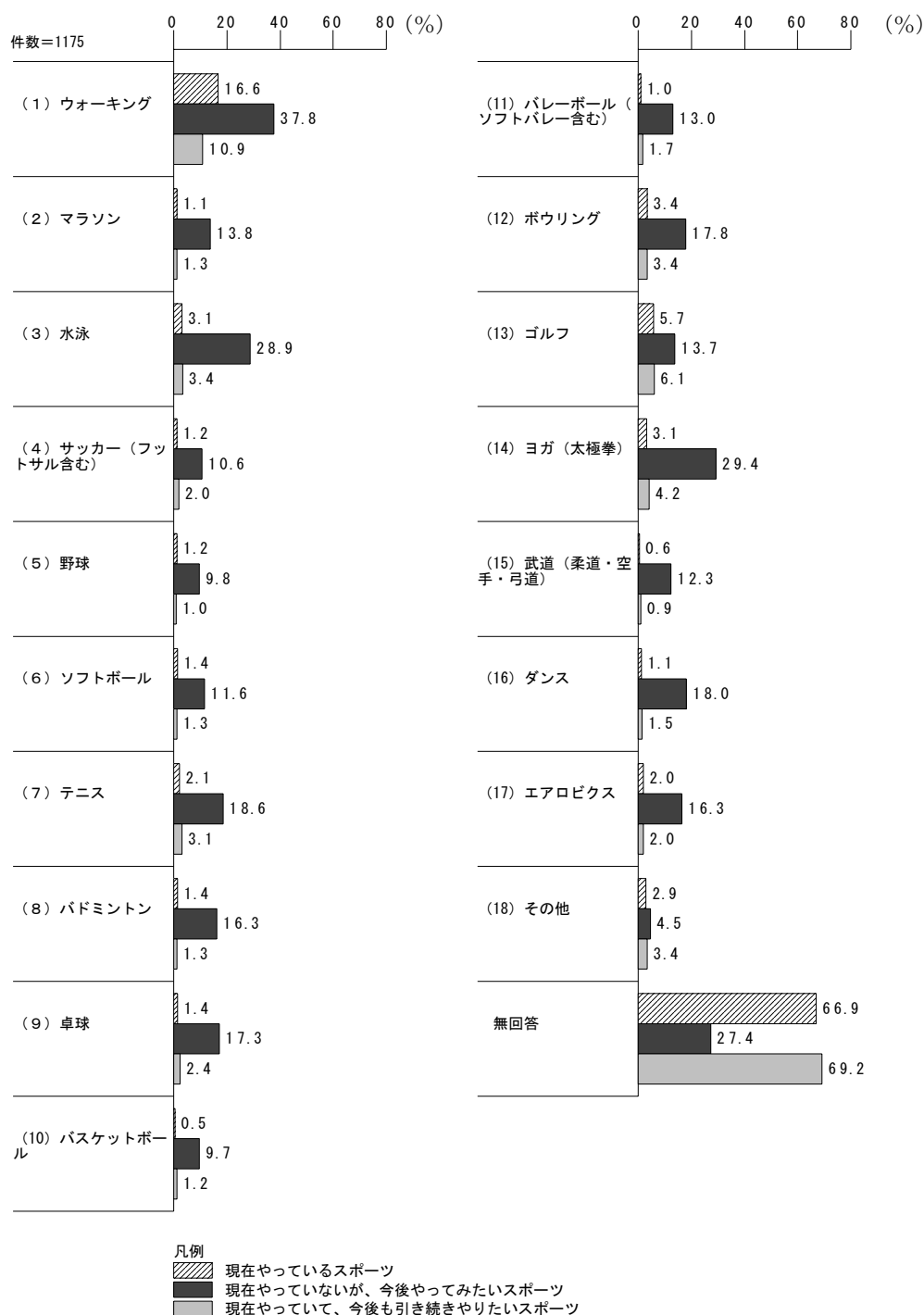
問 11. あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」に関心がありますか。(○は1つ)



・「やや関心がある」が 25.1%で「関心がある」が 14.1%となっており、「総合型地域スポーツクラブ」の関心度は現在 4 割程度となっている。

(4) スポーツへの取り組み状況と意向

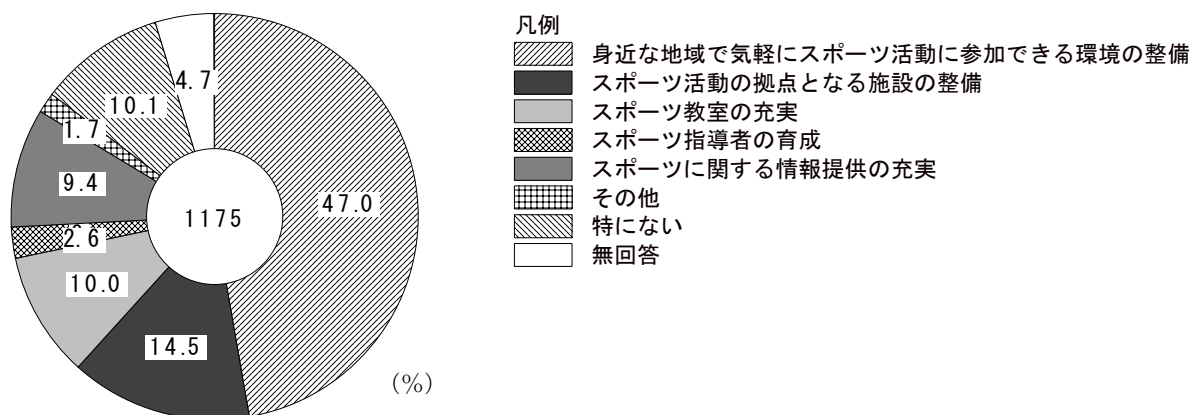
問 12. あなたが現在やっているスポーツ、また、今後やってみたいスポーツは何ですか。
各項目について、現在の実施状況、今後の実施意向について、○をつけてください。



・現在やっているスポーツでは、「ウォーキング」が最も多く、今後やってみたいスポーツは「ウォーキング」や「ヨガ (太極拳)」、「水泳」などが多く、今後も引き続きやりたいスポーツは、「ウォーキング」や「ゴルフ」などが多くなっている。

(5) スポーツ活動推進のための施策

問 13. 市民のスポーツ活動を推進するために何に力を入れるべきだと思いますか。(○は1つ)

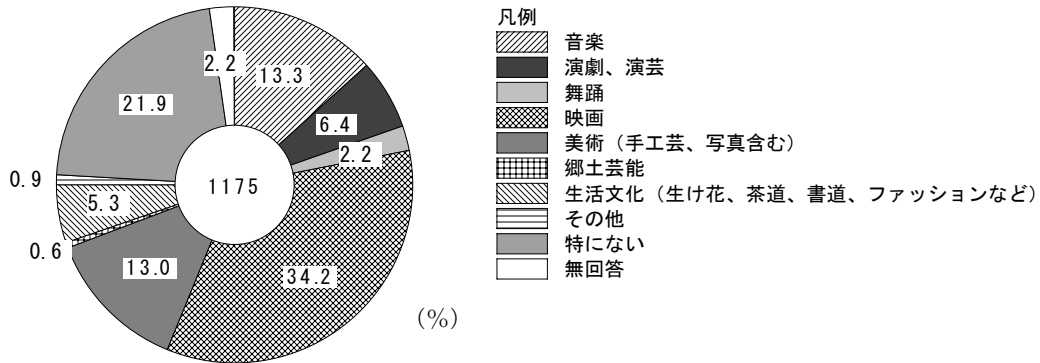


「身近な地域で気軽にスポーツ活動に参加できる環境の整備」が 47.0%で最も多くなっている。以下「スポーツ活動の拠点となる施設の整備」(14.5%)、「スポーツ教室の充実」(10.0%)、「スポーツに関する情報提供の充実」(9.4%) などが続いている。

5 文化・芸術について

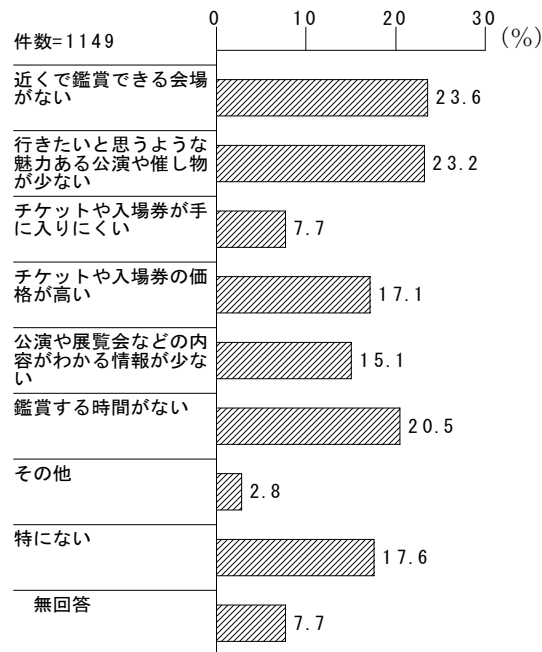
(1) 文化・芸術鑑賞への取り組み状況と課題

問 14. あなたは、この一年間で劇場、会館、映画館、美術館、博物館などにおいて、次の分野を直接鑑賞しましたか。最も多く鑑賞した分野についてお答え下さい。(〇は1つ)



・「映画」が34.2%と最も多く、以下「特にない」(21.9%)、「音楽」(13.3%)、「美術」(13.0%)、「演劇・演芸」(6.4%)となっている。

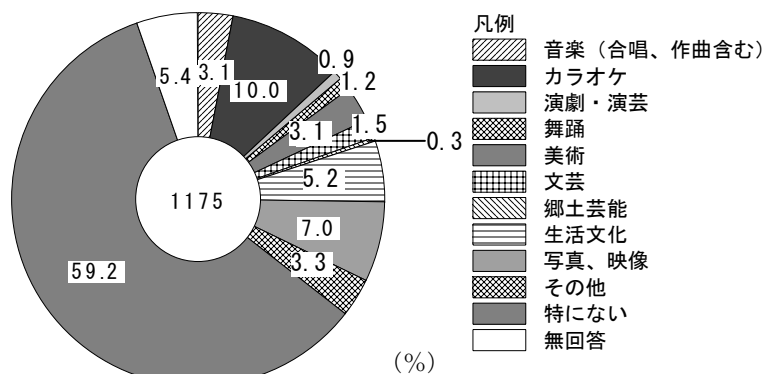
問 15. 問 14 で〇をつけた分野を直接鑑賞する上での課題は何ですか。(〇はいくつでも)



・「近くで鑑賞できる会場がない」が23.6%で最も多く、以下「行きたいと思うような魅力ある公演や催し物が少ない」(23.2%)、「鑑賞する時間がない」(20.5%)、「特にない」(17.6%)、「チケットや入場券の価格が高い」(17.1%)と続いている。

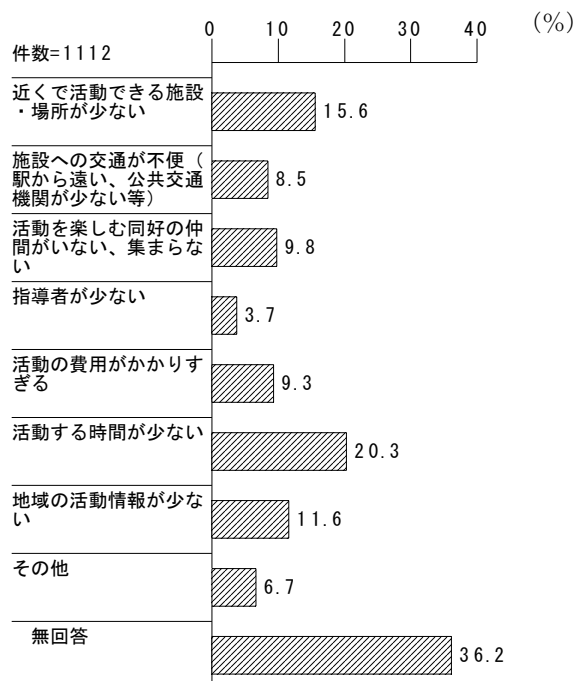
(2) 自分で活動した分野と課題

問 16. あなたが、この一年間に、ご自分で演じたり、作ったりしたものはありますか。
最も多く活動した分野についてお答え下さい。(○は1つ)



・「特にない」が59.2%と最も多く、以下「カラオケ」(10.0%)、「写真、映像」(7.0%)、「生活文化」(5.2%)となっている。

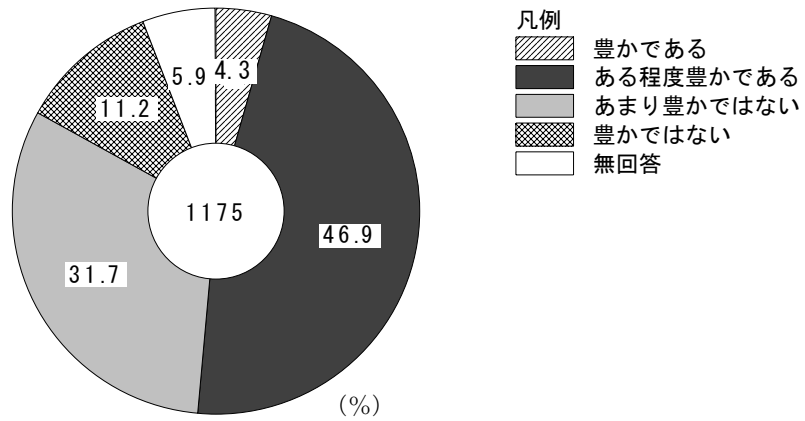
問 17. 問 16 で○をつけた活動をする上での課題は何ですか。(○はいくつでも)



・「活動する時間が少ない」が20.3%と多く、以下「近くで活動できる施設・場所が少ない」(15.6%)、「地域の活動情報が少ない」(11.6%)と続いている。

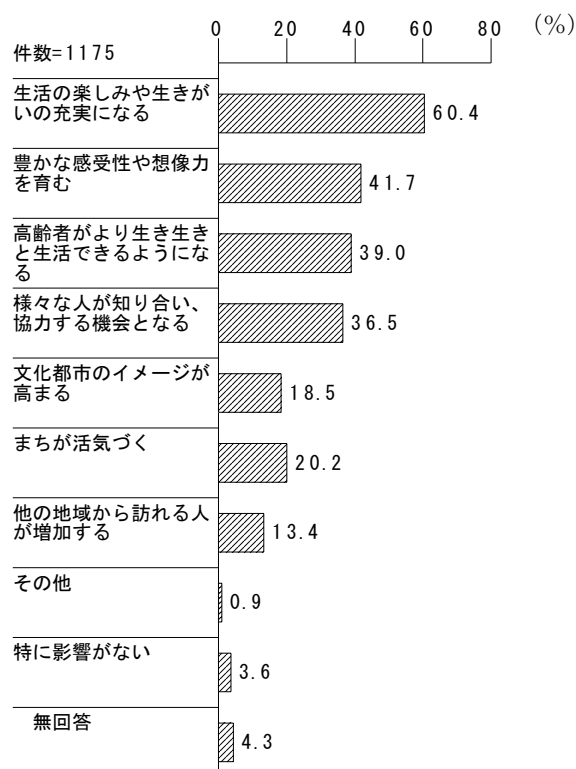
(3) 文化・芸術の現状と効果

問 18. あなたは、刈谷市の文化芸術の現状をどのように思われますか。(〇は1つ)



・「ある程度豊かである」が 46.9%と最も多く、「豊かである」(4.3%) と合わせた 51.2%の人が『豊かである』と評価している。また、「あまり豊かではない」(31.7%) と「豊かではない」(11.2%) を合わせた 42.9%の人が『豊かではない』と評価している。

問 19. 文化芸術は、市民や地域にどのような効果があるとお考えですか。(〇はいくつでも)

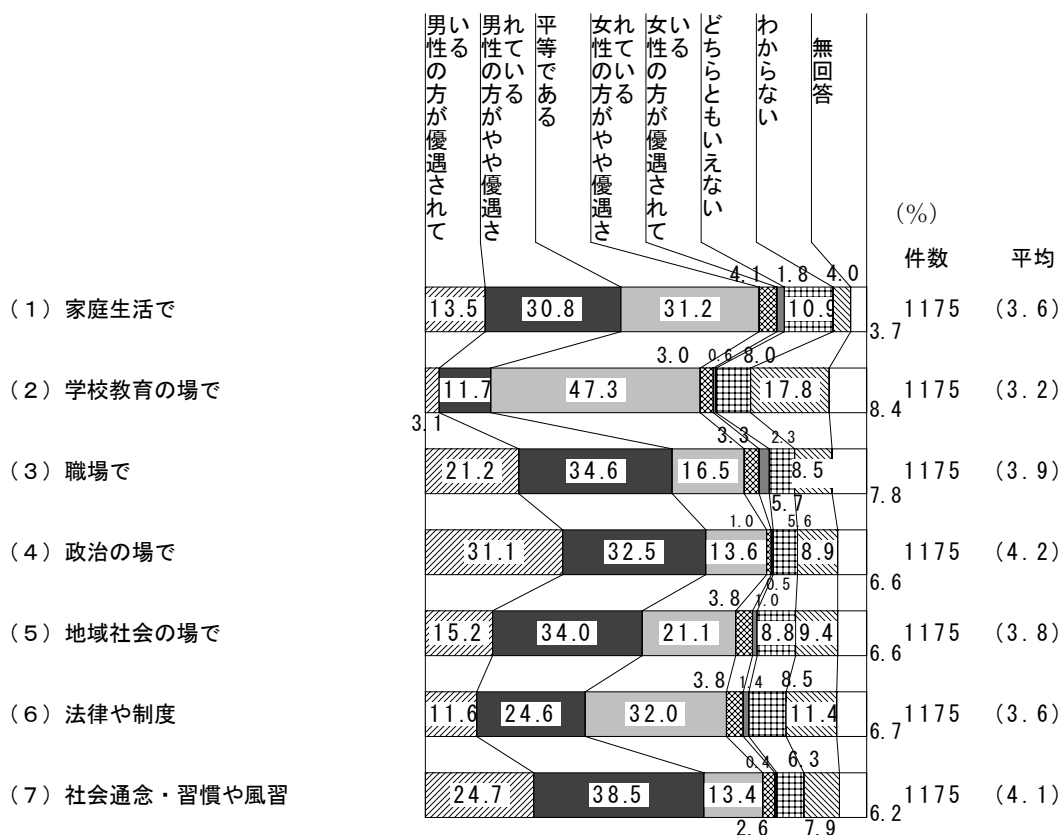


・「生活の楽しみや生きがいの充実になる」が 60.4%と最も多く、以下「豊かな感受性や想像力を育む」(41.7%)、「高齢者がより生き生きと生活できるようになる」(39.0%)、「様々な人が知り合い、協力する機会となる」(36.5%) となっている。

6 男女平等の意識について

(1) 平等と感じる度合い

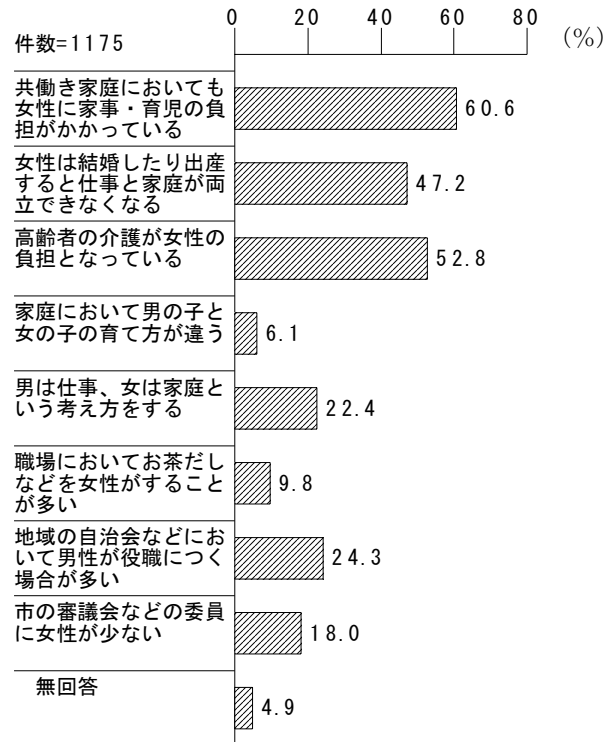
問 20. 次の各分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。(各項目に○は1つ)



・「男性の方が優遇されている」を5点、「男性の方がやや優遇されている」を4点、「平等である」を3点、「女性の方がやや優遇されている」を2点、「女性の方が優遇されている」を1点とし、「どちらともいえない」「わからない」「無回答」を除いて平均ポイントを算出したところ、「政治の場で」がポイントが最も高く、男性の優遇度が高いことを示している。以下「社会通念・習慣や風習」、「職場で」、「地域社会の場で」の順で男性の優遇度が高いと考えられている。最も平等に近いと考えられているのは「学校教育の場で」である。

(2) 男女が助け合っていくための課題

問 21. あなたは、男女が共に助け合って社会をつくっていくために、どんなことが問題だとお感じですか。(〇は3つまで)

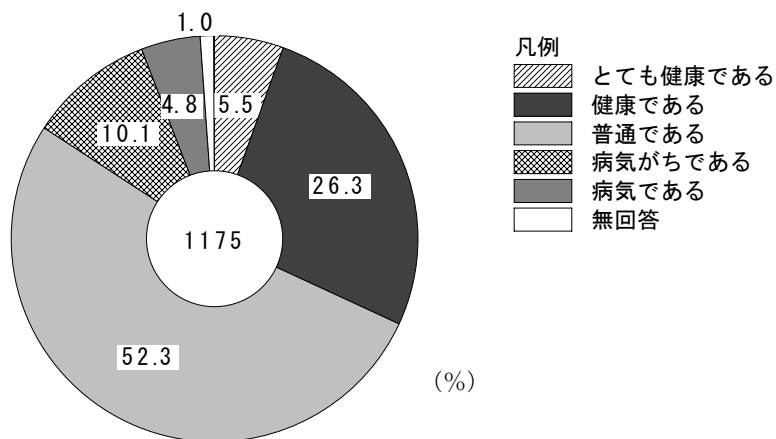


・「共働き家庭においても女性に家事・育児の負担がかかっている」が 60.6%で最も多く、以下「高齢者の介護が女性の負担となっている」(52.8%)、「女性は結婚したり出産すると仕事と家庭が両立できなくなる」(47.2%)、「地域の自治会などにおいて男性が役職につく場合が多い」(24.3%)などが続いている。

7 健康について

(1) 自分の健康状態について

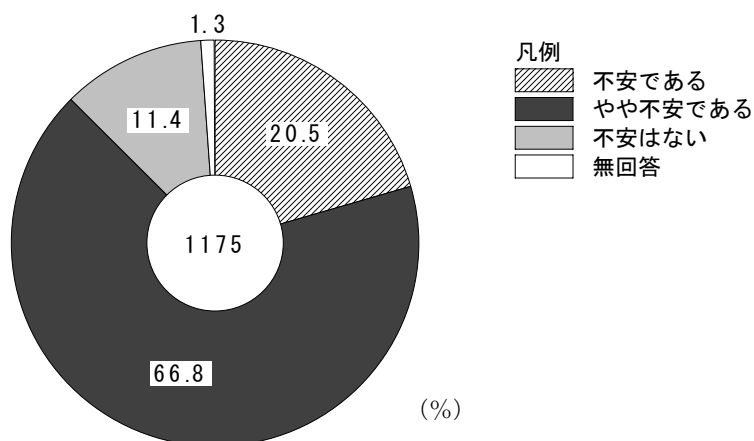
問 22. あなたは、ご自分の健康についてどのようにお考えですか。(○は1つ)



・「普通である」が 52.3%で最も多い。次いで「健康である」が 26.3%となっており、「とても健康である」(5.5%) と合わせて 31.8%の人が自分を『健康である』と評価している。「病気がちである」は 10.1%、「病気である」は 4.8%となっている。

(2) 将来の健康についての不安

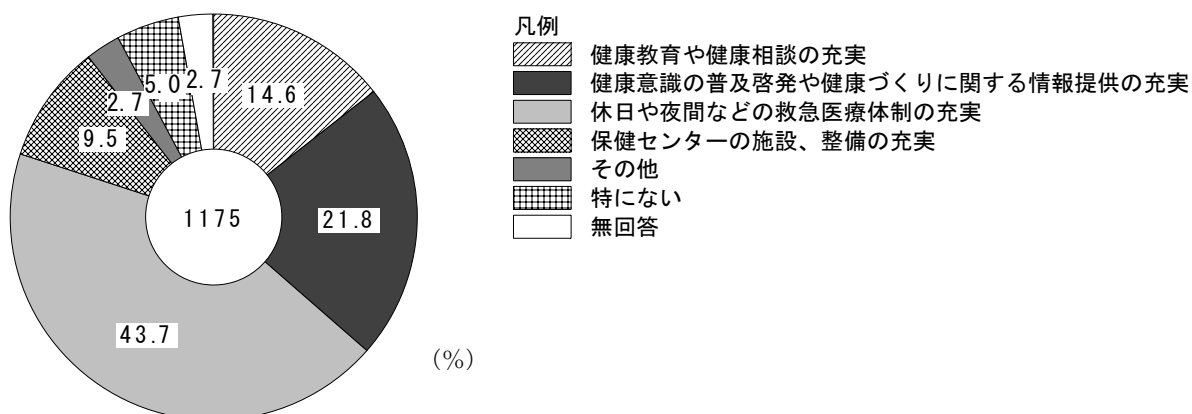
問 23. あなたは、将来の自分の健康について不安ですか。(○は1つ)



・「やや不安である」が 66.8%で最も多く、「不安である」(20.5%) と合わせて 87.3%の人が将来の自分の健康について『不安である』と考えている。

(3) 市民の健康づくりのための施策

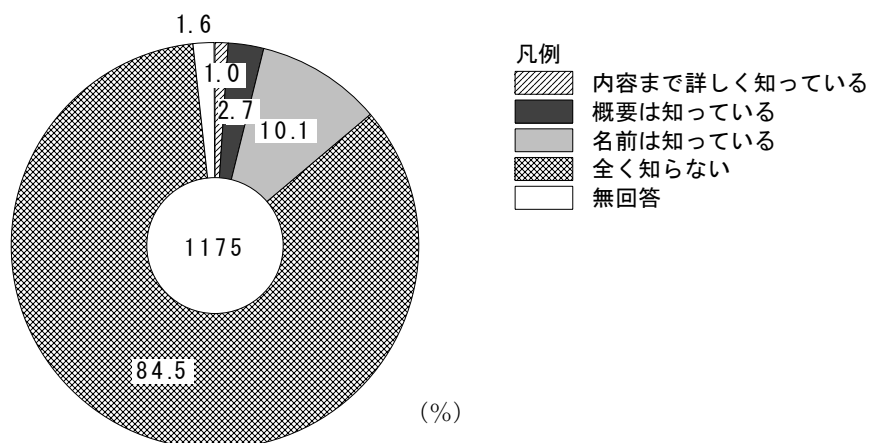
問 24. 市民の健康づくりを増進するため何に力を入れるべきだと思いますか。(○は1つ)



・「休日や夜間などの救急医療体制の充実」が 43.7%で最も多く、以下「健康意識の普及啓発や健康づくりに関する情報提供の充実」(21.8%)、「健康教育や健康相談の充実」(14.6%)、「保健センターの施設、整備の充実」(9.5%)が続いている。

(4) 「健康日本 21 かりや計画」の認知度

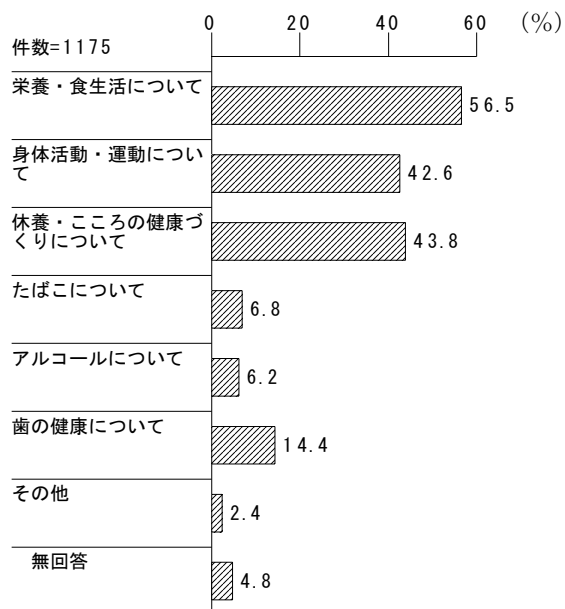
問 25. あなたは、「健康日本 21 かりや計画」を知っていますか。(○は1つ)



・「全く知らない」が 84.5%で最も多く、「名前は知っている」(10.1%)と続いている。

(5) 健康づくりについて知りたい情報

問 26. あなたが、健康づくりについて知りたい情報は何か。(〇はいくつでも)



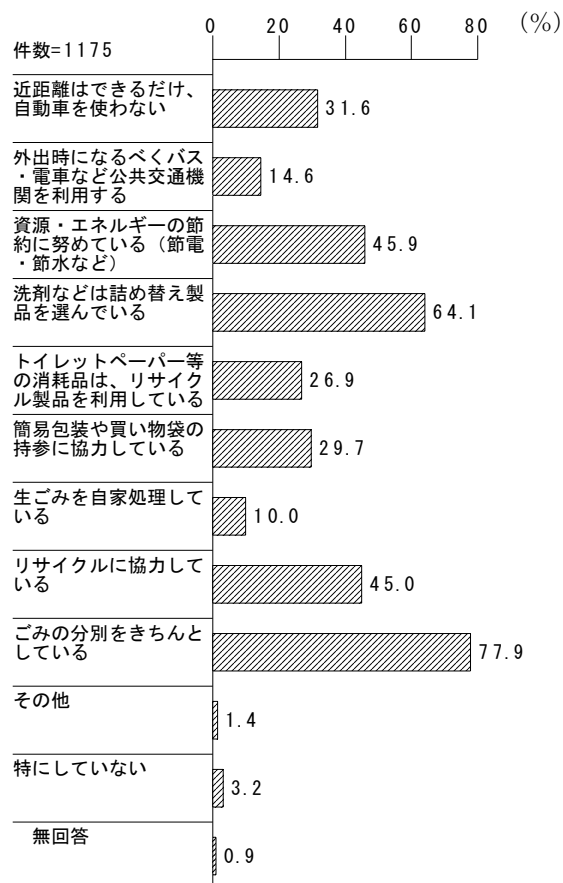
- ・「栄養・食生活について」が56.5%と最も多く、次いで「休養・こころの健康づくりについて」(43.8%)、「身体活動・運動について」(42.6%)が多くなっている。

8 環境について

(1) 環境にやさしい生活の取り組み状況

問 27. あなたは、環境にやさしい生活のためにどのようなことをしていますか。

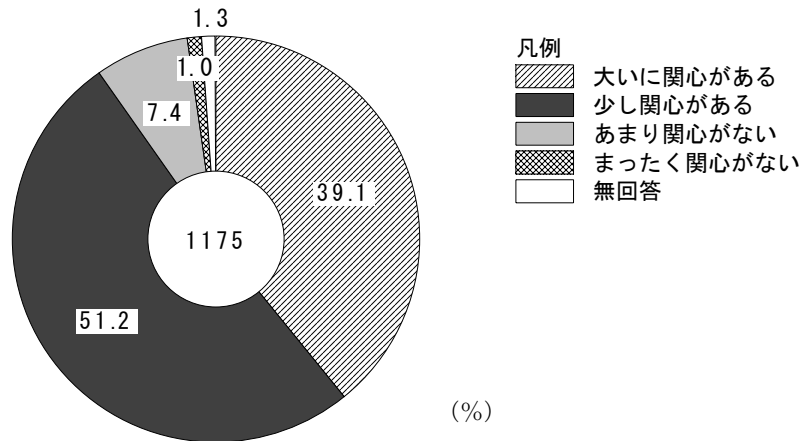
(○はいくつでも)



・「ごみの分別をきちんとしている」が 77.9%で最も多く、以下「洗剤などは詰め替え製品を選んでいる」(64.1%)、「資源・エネルギーの節約に努めている (節電・節水など)」(45.9%)、「リサイクルに協力している」(45.0%) と続いている。

(2) ごみ問題への関心

問 28. あなたは、ごみ問題への関心はありますか。(○は1つ)

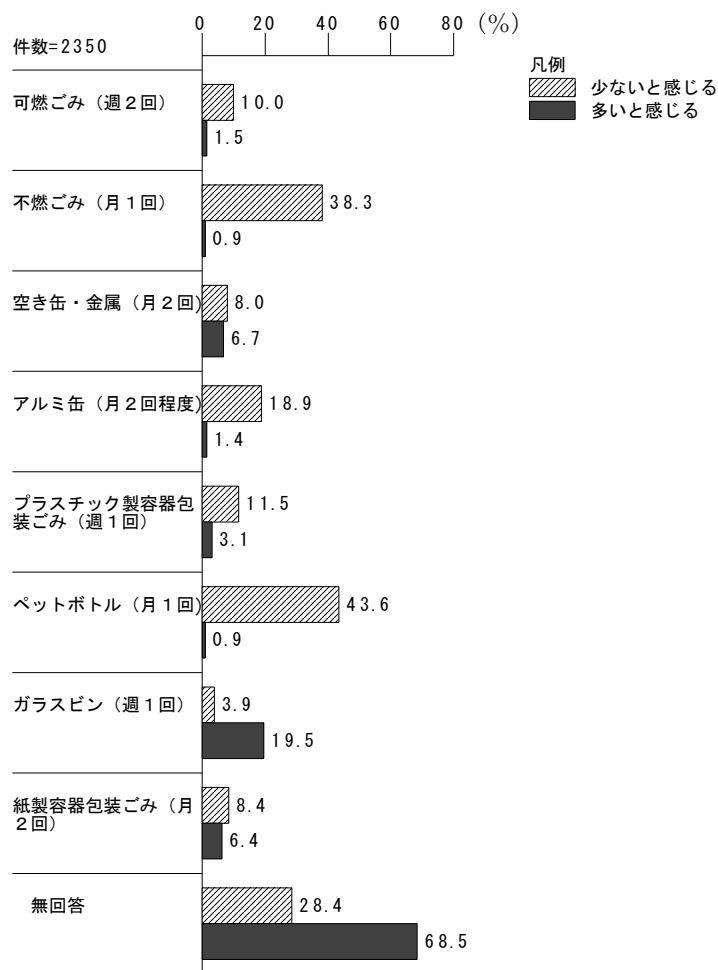


・「少し関心がある」が51.2%で最も多く、「大いに関心がある」(39.1%)と合わせて90.3%の人がごみ問題へ『関心がある』と答えている。

(3) ごみ収集の回数について

問 29. 現在のごみ収集の回数について、少ないと感じているものはありますか。(〇はいくつでも)

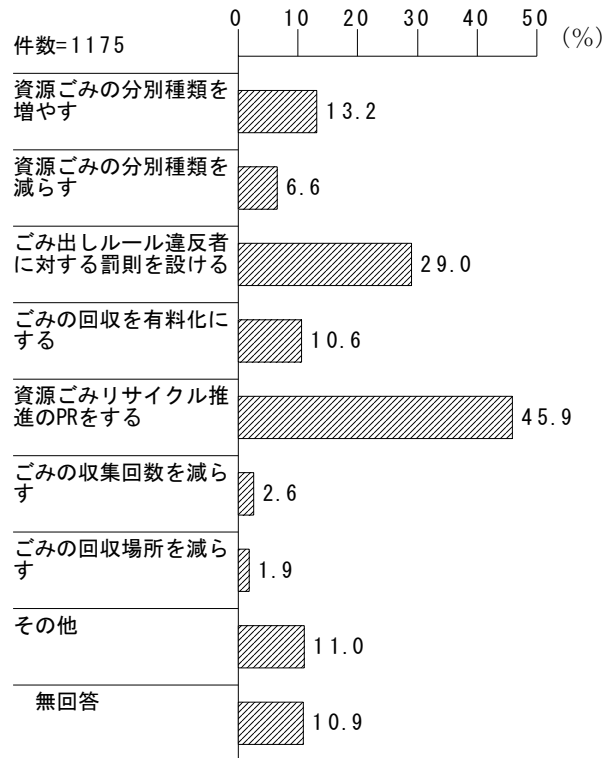
問 30. 現在のごみ収集の回数について、多いと感じているものはありますか。(〇はいくつでも)



・少ないと感じるものは「ペットボトル」や「不燃ごみ」が多くなっており、多いと感じるものは「ガラスビン」が多くなっている。

(4) ごみ減量化のための有効な方法

問 31. あなたは、ごみの減量化のために、どのような方法が有効だと思いますか。(〇は
いくつでも)

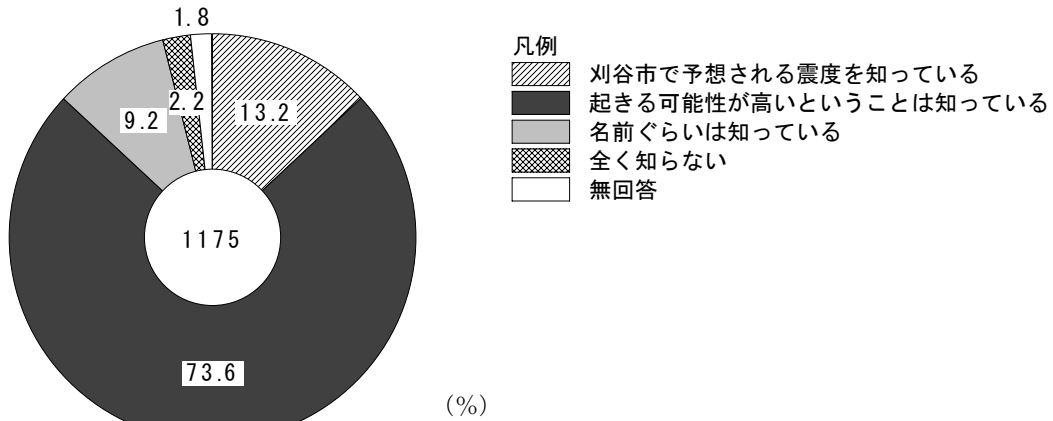


・「資源ごみリサイクル推進のPRをする」が45.9%と最も多く、以下「ごみ出しルール違反者に対する罰則を設ける」(29.0%)、「資源ごみの分別種類を増やす」(13.2%)となっている。

9 防災・災害対策について

(1) 東海地震の認知度

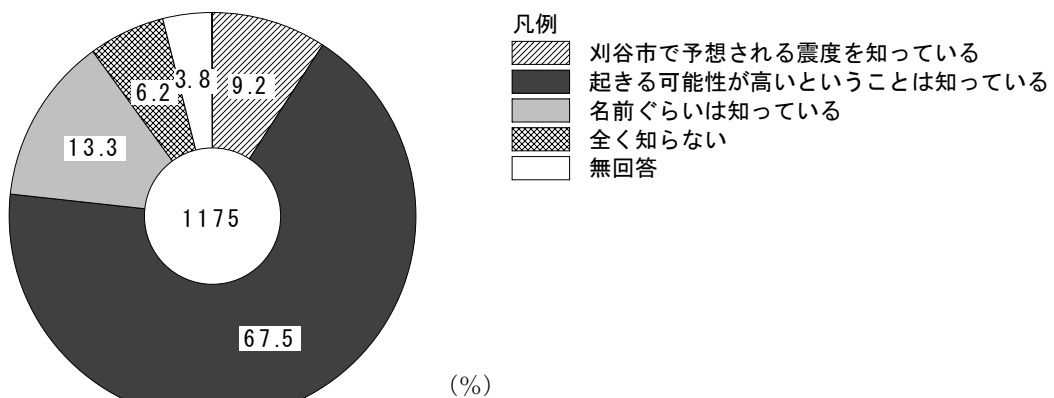
問 32. あなたは、東海地震についてどの程度まで知っていますか。(○は1つ)



・「起きる可能性が高いということは知っている」が73.6%と最も高く、「刈谷市で予想される震度を知っている」は13.2%、「名前ぐらいは知っている」は9.2%、「全く知らない」は2.2%となっている。

(2) 東南海地震の認知度

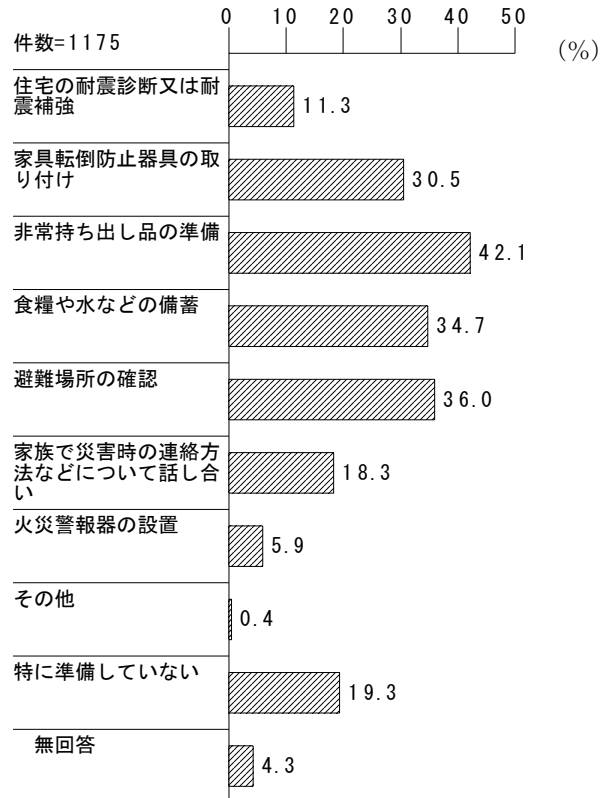
問 33. あなたは、東南海地震についてどの程度まで知っていますか。(○は1つ)



・「起きる可能性が高いということは知っている」が67.5%と最も高く、「刈谷市で予想される震度を知っている」は9.2%、「名前ぐらいは知っている」は13.3%、「全く知らない」は6.2%となっている。

(3) 家庭での地震のための備え

問 34. あなたの家では、地震等に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

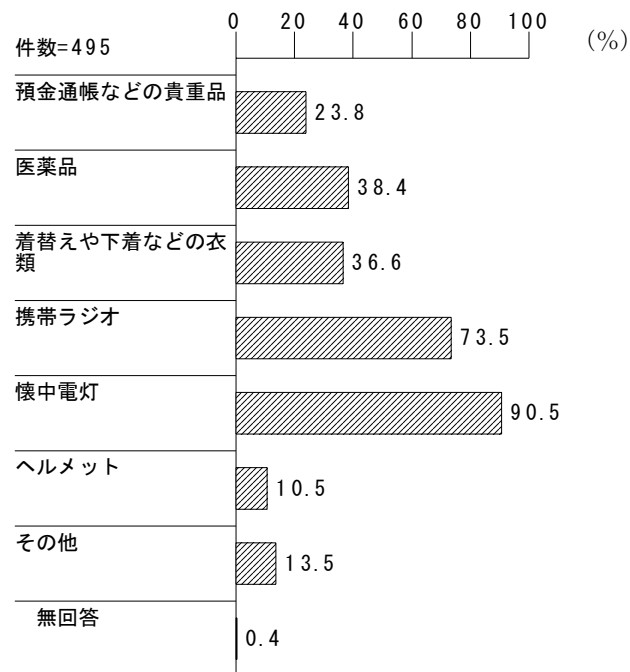


・「非常持ち出し品の準備」が42.1%で最も多く、以下「避難場所の確認」(36.0%)、「食糧や水などの備蓄」(34.7%)、「家具転倒防止器具の取り付け」(30.5%)などが続いている。また、「特に準備していない」は19.3%となっている。

(4) 準備している非常持ち出し品

【問 34 で「3. 非常持ち出し品の準備」と答えた方にお聞きします。】

問 35. 具体的にはどのような準備をしていますか。(○はいくつでも)



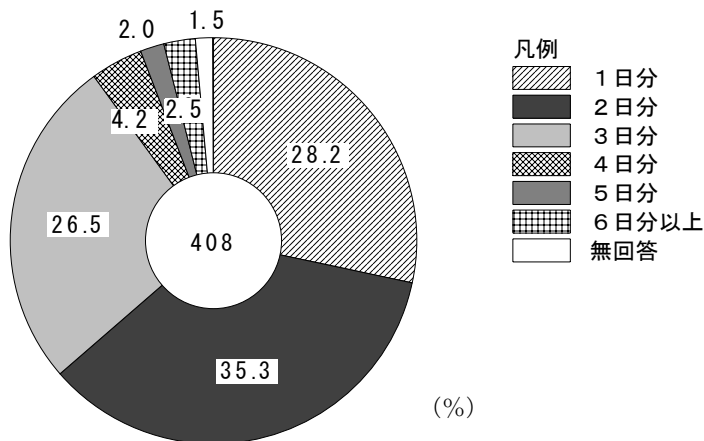
・「懐中電灯」が 90.5%で最も多く、以下「携帯ラジオ」(73.5%)、「医薬品」(38.4%)、「着替えや下着などの衣類」(36.6%)、「預金通帳などの貴重品」(23.8%)、「その他」(13.5%)の順となっている。

・「その他」の内訳は、「非常食」、「飲料水」、「ラップ」、「スリッパ」、「ロープ」、「軍手・手袋」などが挙げられている。

(5) 食糧や水の備蓄量

【問 34 で「4. 食糧や水などの備蓄」と答えた方にお聞きします。】

問 36. 食糧や水は、何日分の備蓄をしていますか。(○は1つ)

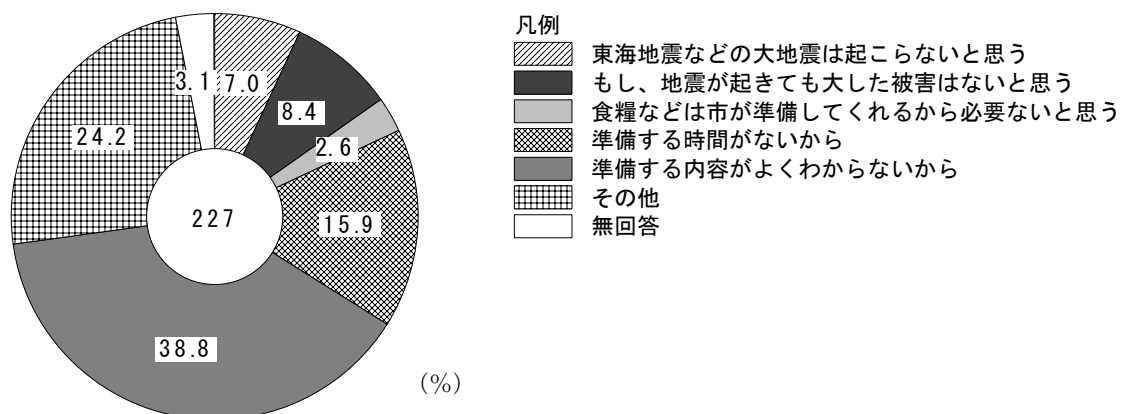


・「2日分」が35.3%で最も多く、次いで「1日分」が28.2%、「3日分」が26.5%となっている。4日以上備蓄している家庭は8.7%となっている。

(6) 準備していない理由

【問 34 で「9. 特に準備していない」と答えた方にお聞きします。】

問 37. なぜ準備していないのですか。(○は1つ)

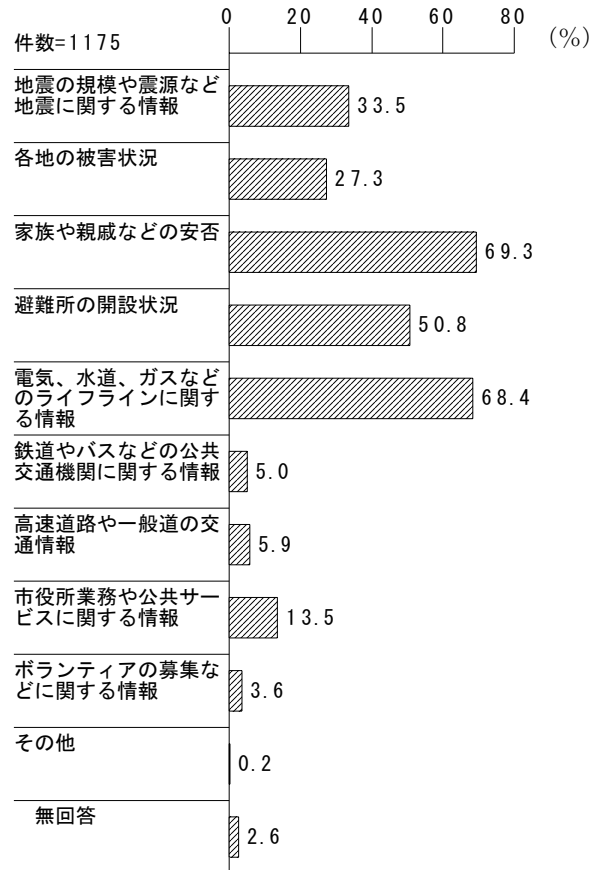


・「準備する内容がよくわからないから」が38.8%で最も多く、以下「その他」(24.2%)、「準備する時間がないから」(15.9%)などが続いている。

・「その他」の内訳は、「準備が面倒」、「なんとなくしていない」、「逃げるのが肝心だから」などとなっている。「以前から準備をしてきたが、入れ替えが面倒」という意見もあった。

(7) 地震発生時に必要な情報

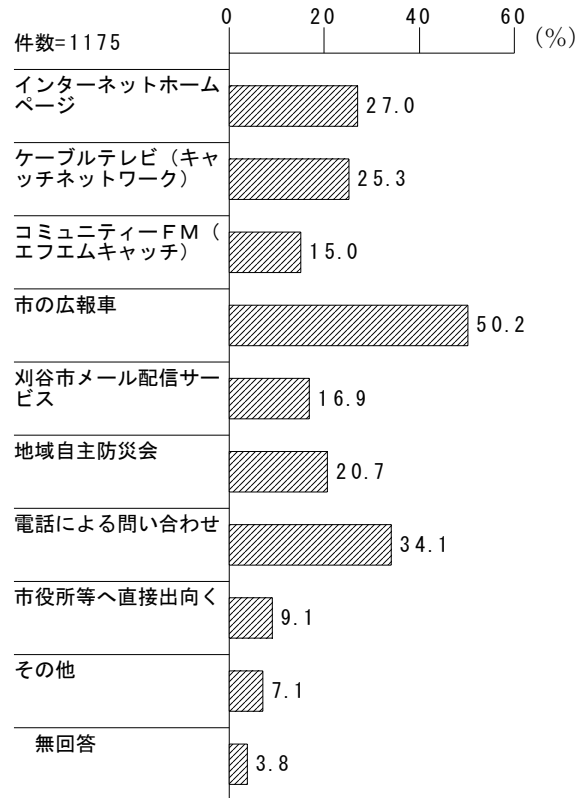
問 38. 大地震が起こった場合に、あなたはどのような情報が必要だと思いますか。(〇は3つまで)



・「家族や親戚などの安否」が 69.3%で最も多く、以下「電気、水道、ガスなどのライフラインに関する情報」(68.4%)、「避難所の開設状況」(50.8%)、「地震の規模や震源など地震に関する情報」(33.5%)、「各地の被害状況」(27.3%)などが続いている。

(8) 震災時の情報の入手方法

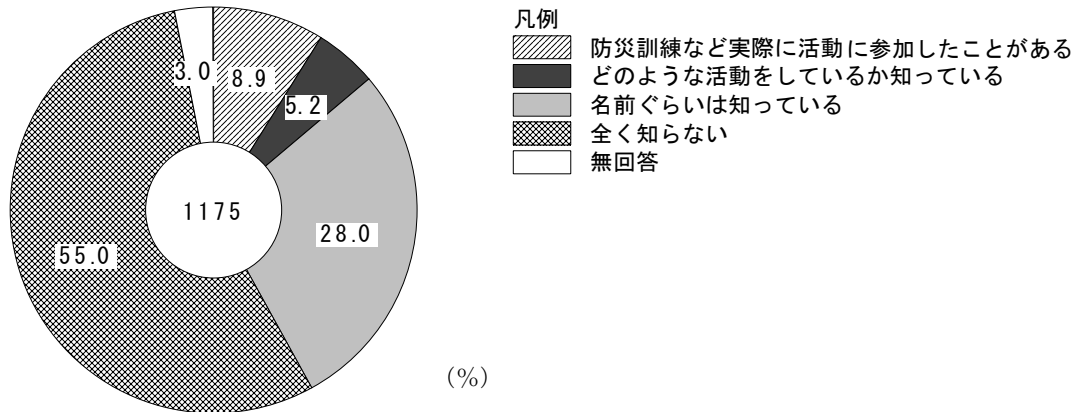
問 39. 大地震が起こった場合に、あなたはどの入手方法で必要な情報を得ますか。(〇はいくつでも)



・「市の広報車」が50.2%で最も多く、以下「電話による問い合わせ」(34.1%)、「インターネットホームページ」(27.0%)、「ケーブルテレビ」(25.3%)、「地域自主防災会」(20.7%)などが続いている。

(9) 自主防災会の認知度

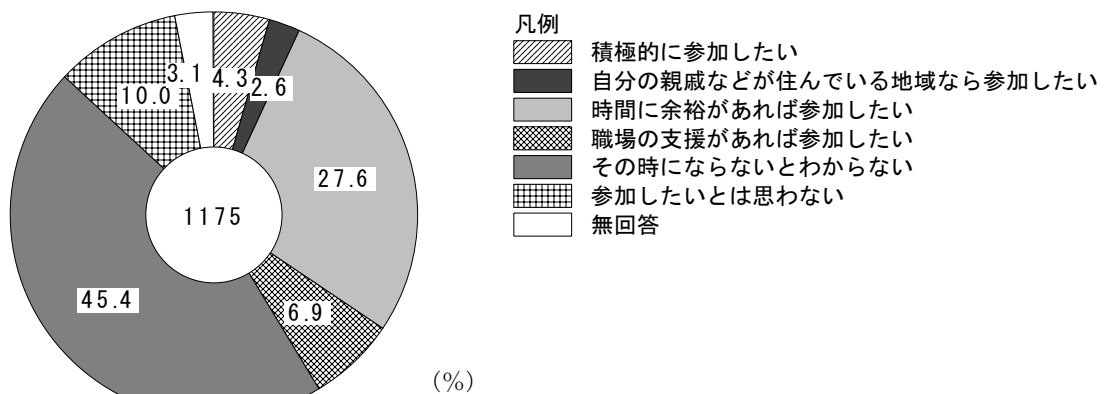
問 40. あなたは、各地区に自主防災会という組織があることを知っていますか。(〇は1つ)



・「全く知らない」が55.0%で、過半数に達している。「名前ぐらいは知っている」は28.0%、「防災訓練など実際に活動に参加したことがある」は8.9%、「どのような活動をしているか知っている」は5.2%となっており、自主防災会を名前以上に知っている人は2割未満となっている。

(10) 災害ボランティア活動への参加意向

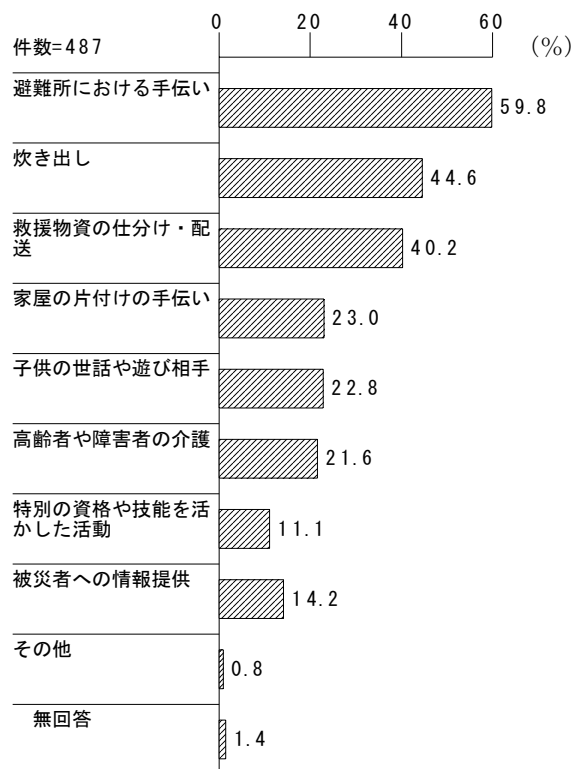
問 41. あなたは、災害ボランティア活動に参加したいと思いますか。(〇は1つ)



・「その時にないとわからない」が45.4%で最も多く、次いで「時間に余裕があれば参加したい」が27.6%で、この2つで7割以上を占めている。『参加したい』（「～参加したい」の合計）は41.4%、「参加したいとは思わない」は10.0%となっており、半数に近い人が参加意向を持っていることがうかがえる。

【問 41 で 1～4 のいずれかに答えた方にお聞きします。】

問 42. あなたはどのような災害ボランティア活動に参加したいですか。(○はいくつでも)

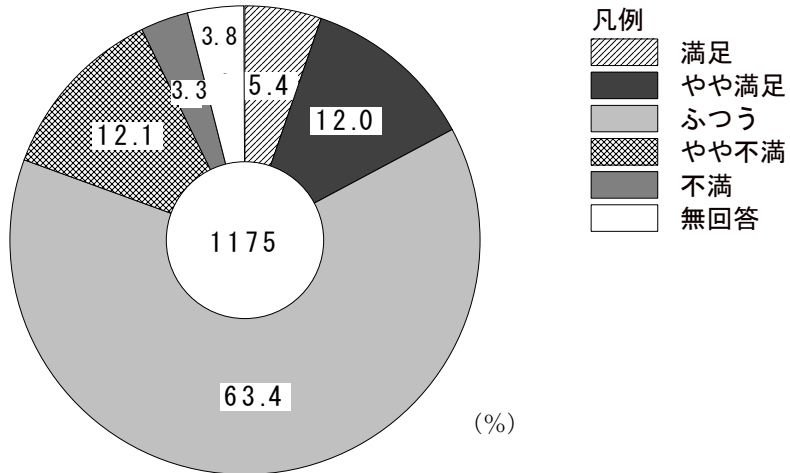


・「避難所における手伝い」が 59.8%で最も多く、以下「炊き出し」(44.6%)、「救援物資の仕分け・配送」(40.2%)、「家屋の片付けの手伝い」(23.0%)、「子供の世話や遊び相手」(22.8%)、「高齢者や障害者の介護」(21.6%)と続いている。

10 広報・広聴について

(1) 市役所からの情報提供の満足度

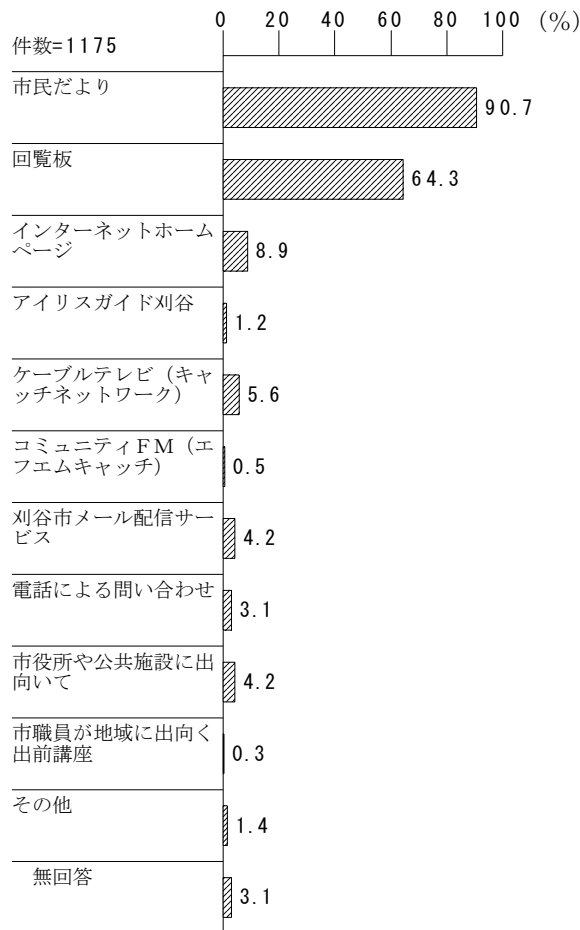
問 43. あなたは、市役所からの情報提供についてどう思いますか。(○は1つ)



・「ふつう」が63.4%と最も多く、次いで「やや満足」が12.0%となっており、「満足」(5.4%)と合わせて17.4%の人が市の情報提供には『満足』と評価している。また、「やや不満」(12.1%)と「不満」(3.3%)を合わせた15.4%の人は『不満』と評価している。

(2) 市役所からの情報入手手段

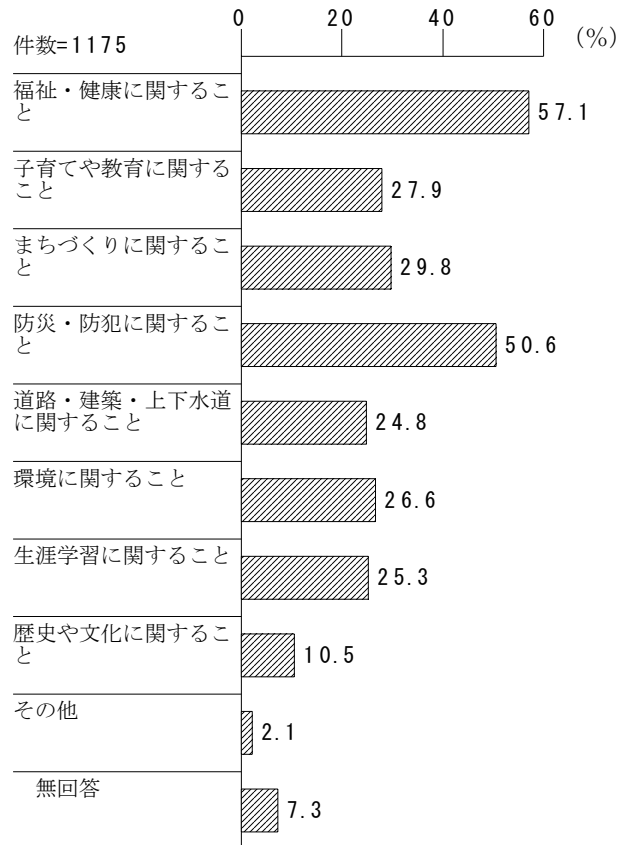
問 44. あなたは、市役所からの情報をどのように得ていますか。(〇はいくつでも)



・「市民だより」が 90.7%と最も多く、次いで「回覧板」は 64.3%となっている。「インターネットホームページ」(8.9%) や「ケーブルテレビ」(5.6%)、「刈谷市メール配信サービス」(4.2%) など昨今の通信事情を背景に情報入手手段の多様化がうかがえる。

(3) 市役所から欲しい情報

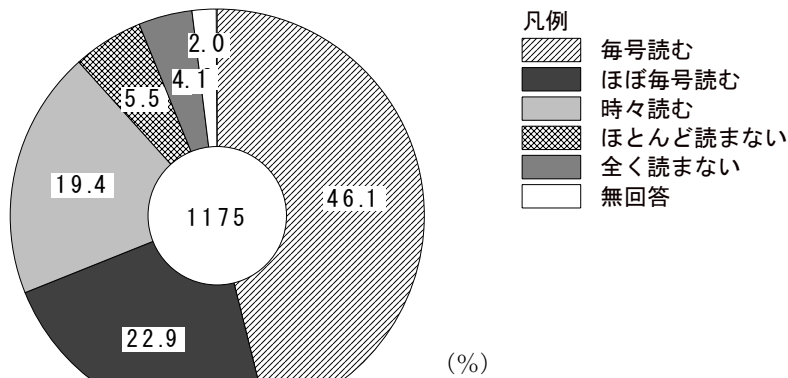
問 45. あなたは、市役所から、どのような情報を得たいですか。(〇はいくつでも)



・「福祉・健康に関する事」が 57.1%と最も多く、以下「防災・防犯に関する事」(50.6%)、「まちづくりに関する事」(29.8%)、「子育てや教育に関する事」(27.9%)、「環境に関する事」(26.6%)、「生涯学習に関する事」(25.3%)、「道路・建築・上下水道に関する事」(24.8%)となっている。

(4) 「かりや市民だより」の閲読状況

問 46. あなたは、「かりや市民だより」を読んでいますか。(○は1つ)

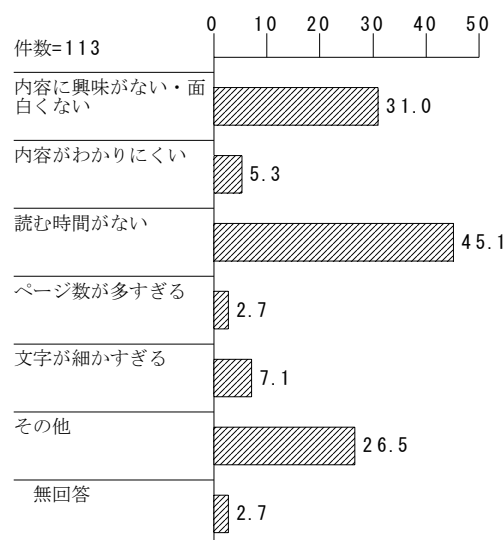


・「毎号読む」が 46.1%と最も多く、次いで「ほぼ毎号読む」(22.9%)、「時々読む」(19.4%)の合計 88.4%の人が市民だよりを読んでいる。

(5) 「かりや市民だより」を読まない理由

【問 46 で 4～5 のいずれかに答えた方にお聞きします。】

問 47. 「かりや市民だより」を読まない理由は何ですか。(○はいくつでも)



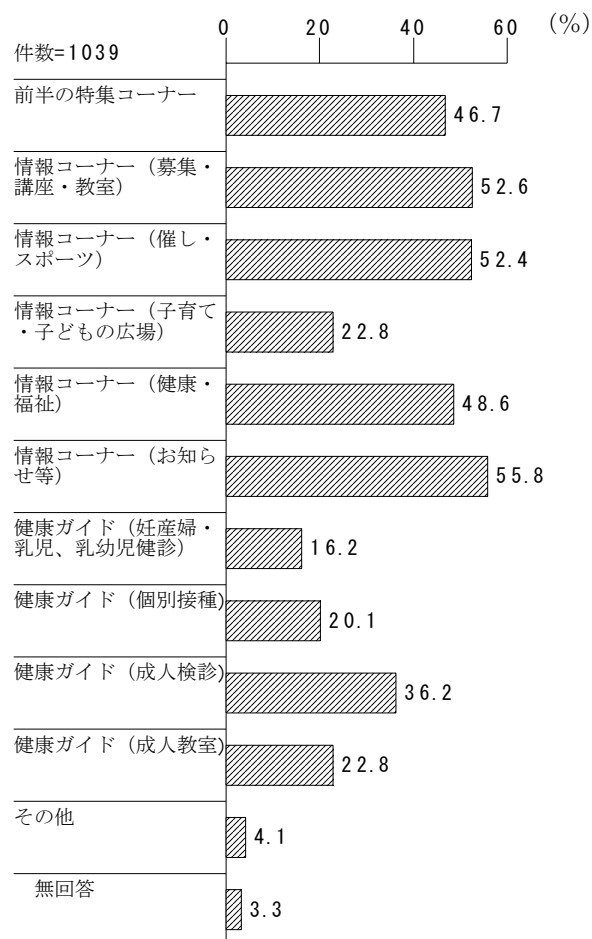
・「読む時間がない」が 45.1%と最も多く、以下「内容に興味がない」(31.0%)、「その他」(26.5%)となっている。

・「その他」の内訳については、「広報誌は知っているが、手元にこない」、「そのものの存在を知らない」などが挙げられている。

(6)「かりや市民だより」で読んでいるコーナー

【問 46 で 1 ～ 3 のいずれかに答えた方にお聞きします。】

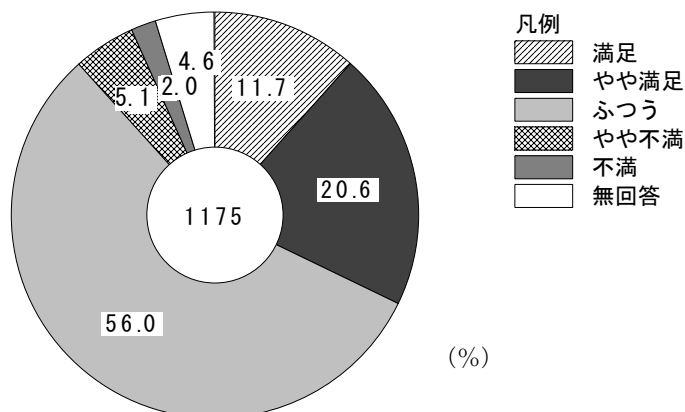
問 48. あなたは、「かりや市民だより」のどのコーナーを読んでいますか。(〇はいくつでも)



・「情報コーナー (お知らせ等)」が 55.8% と最も多く、以下「情報コーナー (募集・講座・教室)」(52.6%)、「情報コーナー (催し・スポーツ)」(52.4%)、「情報コーナー (健康・福祉)」(48.6%)、「前半の特集コーナー」(46.7%) と続いており、『情報コーナー』の注目度が高いことがうかがえる。

(7) 「かりや市民だより」の満足度

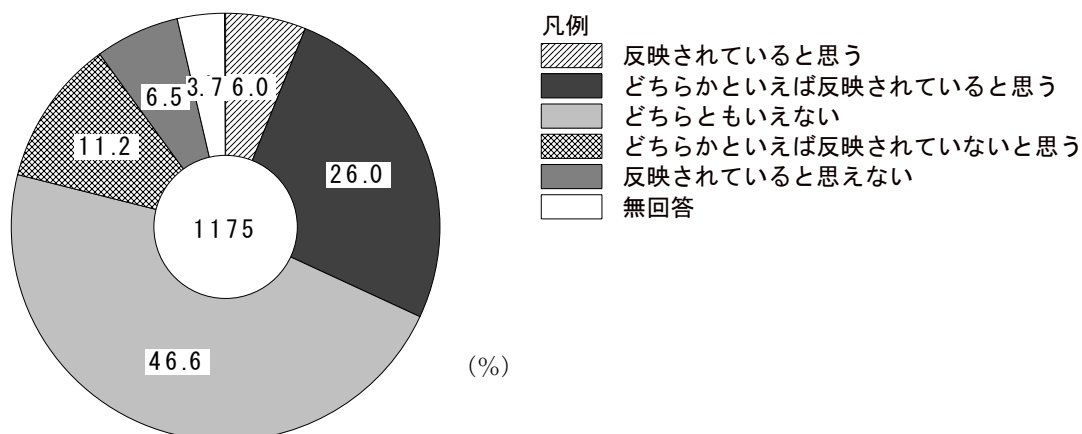
問 49. あなたは、「かりや市民だより」についてどのように感じていますか。(○は1つ)



・「ふつう」が56.0%と最も多く、次いで「やや満足」が20.6%となっており、「満足」(11.7%)と合わせて32.3%の人が市民だよりに『満足』と評価している。

(8) 市民の意見の市政への反映度

問 50. 総合的にみて、市民のみなさまの意見や要望は市政に反映されていると思いますか。(○は1つ)



・「どちらともいえない」が46.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば反映されていると思う」が26.0%となっており、「反映されていると思う」(6.0%)と合わせて32.0%の人が市政に自分の意見や要望が『反映されている』と評価している。